

電気ポットの使用実態及び電気ポットによる
子供のやけどに関するアンケート報告書

令和6年3月

東京都生活文化スポーツ局

目次

調査結果概要	1
第1 調査の概要.....	3
1 調査地域と調査対象者、有効回答数.....	3
2 調査方法	3
3 調査実施期間.....	3
*集計・分析に関する注釈.....	3
第2 プレアンケート調査結果.....	4
1 電気ポットの所有状況	4
第3 本調査アンケート結果	6
1 電気ポットの種類と使用実態.....	6
2 電気ポットによる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について.....	18
3 電気ポットの危険性について.....	37
4 電気ポットに対する意見・要望等	43
第4 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因行動の分析	45
1 給湯操作をした（しそうになった）経験	47
2 衝突して転倒した（しそうになった）経験.....	48
3 蒸気に触れた（しそうになった）経験.....	49
4 コードをひっかけてまたはひっばって転倒させた（しそうになった）経験.....	50
5 つかまったり触ったりして転倒した（しそうになった）経験.....	52
6 台所での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について	53
第5 商品に関わる原因・要因の分析.....	54
1 マグネットプラグ.....	54
2 転倒流水.....	54
3 ロック解除ボタン.....	55
第6 参考資料 アンケート調査票.....	56

調査結果概要

【電気ポットの所有状況について】（プレアンケート、有効回答：8,853件）

- 6歳以下の子供をもつ家庭で、主に電気ポットでお湯を沸かしている家庭は14.8%であった。
- 電気ポットの所有状況については2018年度と比較して大きな差はなかった。

【電気ポットの使用実態について】

- 6歳以下の自分の子供と同居し、電気ポットをよく使う人にアンケート調査を行った（本調査アンケート、有効回答：1,003件）ところ、使用されている電気ポットの種類の大半は、電動給湯方式、1L以上3L未満であった。
- 使用者の73.8%が「常にお湯を入れ保温」して使用している。2018年度と比較すると5.4%増加した。
- 給湯時に電気ポットが置かれている場所は、「台所の棚、ラック」が48.7%、「台所の調理スペース・流し台」は36.0%であった。また、約3%の人が台所や居室の床に置いていると回答した。
- メーカーがパッキンの定期的な交換を推奨していることを、半数以上が知らなかった。

【「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について】

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」の経験は全体の21.4%（215件）であった。「実際にやけどをした（危害）経験」があるのは9.0%（90件）、「やけどはしていないが危ないと思った（ヒヤリ・ハット）経験」があるのが12.5%（125件）であった。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」を経験した年齢は1歳が多く、なかでも1歳0か月から1歳6か月の頃が多かった。2018年度と平均年齢で比較すると、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は2.04歳→2.11歳で大きな差がなかったが、「危害」経験に限定すると2.28歳→1.94歳と平均年齢の低下が見られた。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」を経験した場所は自宅が87.0%（187件）と多く、2018年度と比較すると約5%増加した。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験のあったときの電気ポットの置き場所については、台所の棚、ラック、台所の調理スペース等が多かった。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」の経験があったときの状況については、「子供自身が給湯操作した（しそうになった）」28.4%（61件）、「子供自身が衝突してポットが転倒した（しそうになった）」24.2%（52件）、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」14.4%（31件）となった。2018年度と比較すると、「子供自身が衝突して電気ポットが転倒した（しそうになった）」は15.5%増加した一方で、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」は8.9%減少した。
- 「ヒヤリ・ハット」を除く、やけどに至った「危害」の経験（90件）をみると、「給湯操作」の割合が小さくなり、「衝突した」45.6%（41件）が多くなる。
- 原因については、「子供の手が届くと思わなかった」が38.1%（82件）で最も多く、次いで「子供の手が届くと思っていたが、触れないような対策をしていなかった」34.0%（73件）、「置き場所が悪かった」33.0%（71件）であった。また、半数以上が事後に経験をどこにも報告していなかった。

[給湯操作]

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中では最も多く61件（28.4%）となっている。この61件

のうち「ヒヤリ・ハット」は48件(78.7%)、「危害」は13件(21.3%)であり「ヒヤリ・ハット」の割合が大きい。

- 61件のうち、自宅での経験は56件であり、これらの場所の詳細については、全回答者全体の普段お湯を使用する場所と比較すると、居室のローテーブル(1.5%→8.9%)が多く、台所の調理スペース・流し台(36.0%→19.6%)は少ない。

【衝突して転倒】

- 衝突による「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は「給湯操作」に次いで多く52件(24.2%)となっている。この中で実際にやけどに至っているのは41件(78.8%)であり、「ヒヤリ・ハット」を除く「危害」では最も多い。
- 52件のうち自宅での経験は40件であり、これらの場所の詳細について、全回答者全体の普段お湯を使用する場所と比較すると、「台所の床」(1.5%→25.0%)が多く、「台所の棚、ラック」(48.7%→17.5%)が少ない。

【蒸気に触れた】

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「蒸気に触れる」は31件(14.4%)となっている。この中で実際にやけどに至っているのは11件(35.5%)である。
- 31件のうち、自宅での経験は30件であり、これらの場所の詳細について、全回答者全体の普段お湯を沸かす場所と比較すると、「台所の床(1.9%→6.7%)」、「居室(洋室)の床(0.5%→3.3%)」が多い。

【コードをひっかけて転倒・コードをひっぱって転倒】

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「コードをひっかけて転倒」は20件(9.3%)、「コードをひっぱって転倒」は18件(8.4%)となっている。
- 「コードをひっかけて転倒」のうち「入院」が30.0%と他の原因行動と比べ比率が高く、大量の流水につながる可能性が高いことから、重度の危害に及ぶと考えられる。
- 「コードをひっぱって転倒」は1歳が61.1%を占めている。興味のあるところまで自分で歩けるようになった頃に「危害」「ヒヤリ・ハット」が発生しやすいことがうかがえる。

【つかまったり触ったりして転倒】

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「つかまったり触ったりして転倒」は11件(5.1%)となっている。「危害」の経験は2件(18.2%)と少なく、「ヒヤリ・ハット」の割合が大きい。

【電気ポットの安全対策等について】

- 電気ポットの危険性については、子供の興味本位の行動(ボタンを触りそう、蒸気に触れそう)に危険を感じている人が多い。
- 事故を防ぐ対策として「置く場所に配慮している」が51.9%(521件)で最も多かったが、何も対策していないと回答した人も19.4%いた。
- 事故防止に関する情報の入手経路は、テレビ・ラジオ、インターネットのニュースが多く、2018年度と比較するとインターネット媒体が増加した。

第1 調査の概要

1 調査地域と調査対象者、有効回答数

(1) プレアンケート

首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県）に在住し、6歳以下の自分の子供と同居する、20歳以上の男女を対象に調査を行った。

有効回答 8,853件

(2) 本調査アンケート

プレアンケートで、「普段お湯を沸かす際にもっともよく使う製品は、電気ポット（電動給湯方式、エア給湯方式、兼用式、ハンディ給湯方式）」と回答した方を対象に調査を行った。

有効回答 1,003件

2 調査方法

インターネットアンケート調査

3 調査実施期間

令和5年11月8日（水曜日）から11月27日（月曜日）まで

* 集計・分析に関する注釈

- ・回答比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- ・設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・図に表記される「n=*」（*は数字）は、対象の母数を表す。
- ・図や表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。

第2 プレアンケート調査結果

1 電気ポットの所有状況

普段お湯を沸かす際にもっともよく使う製品についてたずねたところ、結果は以下のとおりである。「電気ケトル」が55.6%（4,924件）と最も多く、次いで「ヤカン」15.0%（1,324件）、「電気ポット：電動給湯方式」11.3%（999件）となった。各給湯方式の電気ポット4種類を合計すると、14.8%（1,310件）であった。

2018年度と比較すると、「電気ケトル」が8.6%、「ウォーターサーバー」が4.8%増加した一方で、「ヤカン」が12.3%減少した。

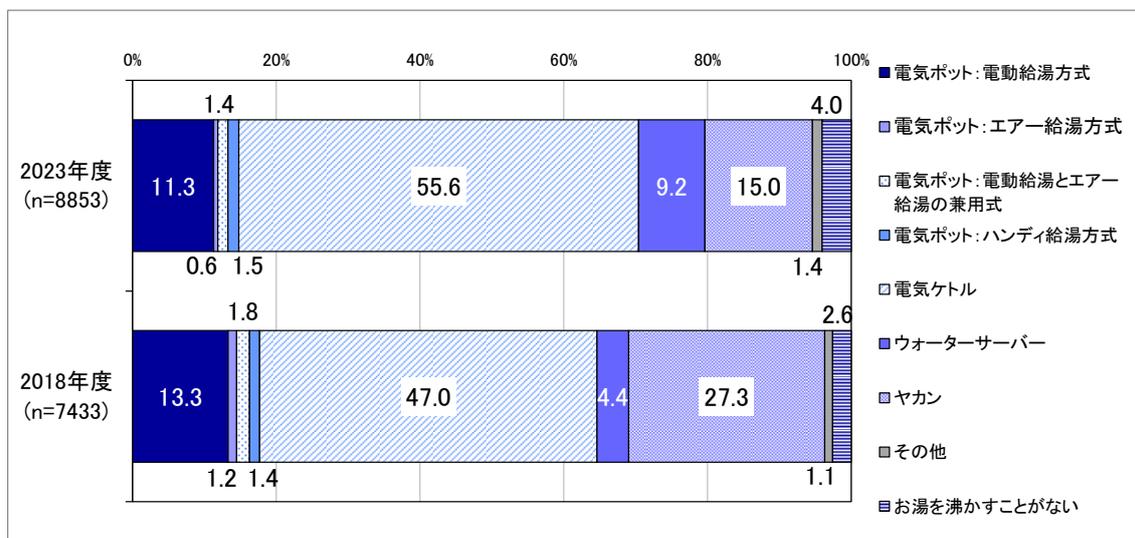


図 1 電気ポットの所有状況(単数回答)SC7

〈選択肢〉

電気ポット（ジャーポット）：電動給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式
電気ポット（ジャーポット）：エア給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式
電気ポット（ジャーポット）：電動給湯とエア給湯の兼用式 湯沸かしと保温機能、
マグネットプラグ式
電気ポット：ハンディ給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式
電気ケトル：本体と給電台に分離できる。給電台と電源コードが分離できないものが多い
ウォーターサーバー
ヤカン（ガスコンロやIHクッキングヒーター）
その他
お湯を沸かすことがない



第3 本調査アンケート結果

プレアンケートで、「普段お湯を沸かす際にもっともよく使う製品は、電気ポット（電動給湯方式、エア給湯方式、兼用式、ハンディ給湯方式）」と回答した方を対象に調査を行った。

1 電気ポットの種類と使用実態

普段お湯を沸かすのに一番よく使っている電気ポットについて質問した結果は以下のとおりである（複数所有の場合は一番よく使う電気ポットについて回答）。

(1) 電気ポットの給湯方式（お湯の出し方）

給湯方式（お湯の出し方）については、「電動給湯方式」が75.3%（755件）と最も多く、次いで「電動給湯とエア給湯の兼用式」が11.8%（118件）、「ハンディ給湯方式」8.8%（88件）、「エア給湯方式」4.2%（42件）であった。

2018年度と比較して大きな差はなかった。

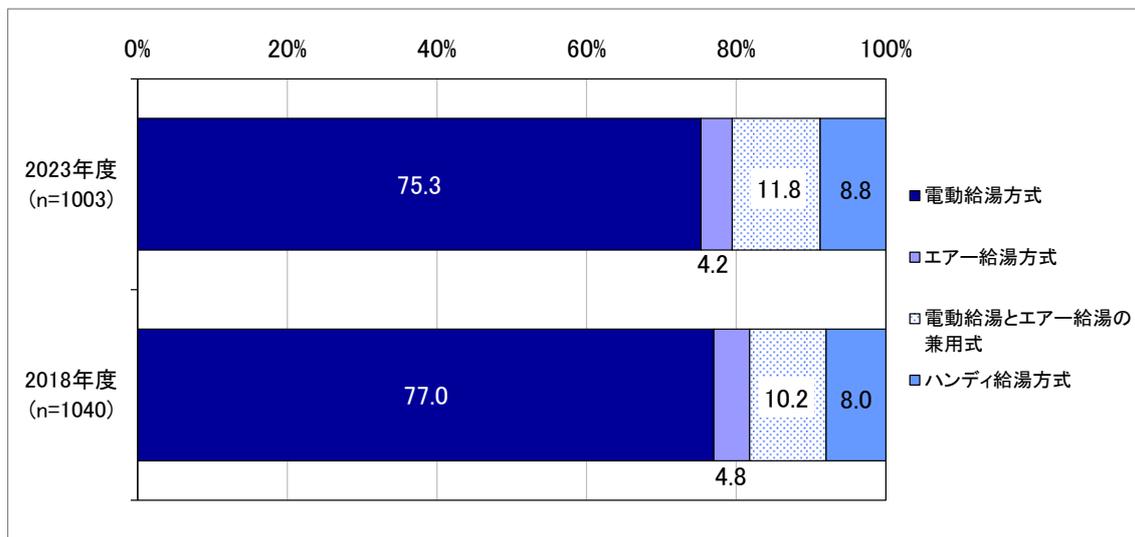


図 2 電気ポットの給湯方式(単数回答)Q1

(2) 電気ポットの容量

使用している電気ポットの容量については、「2.0 リットル以上 3.0 リットル未満」が 39.2% (393 件) で最も多く、「1.0 リットル以上 2.0 リットル未満」30.9% (310 件)、「3.0 リットル以上 4.0 リットル未満」16.2% (162 件) であった。

2018 年度と比較して大きな差はなかった。

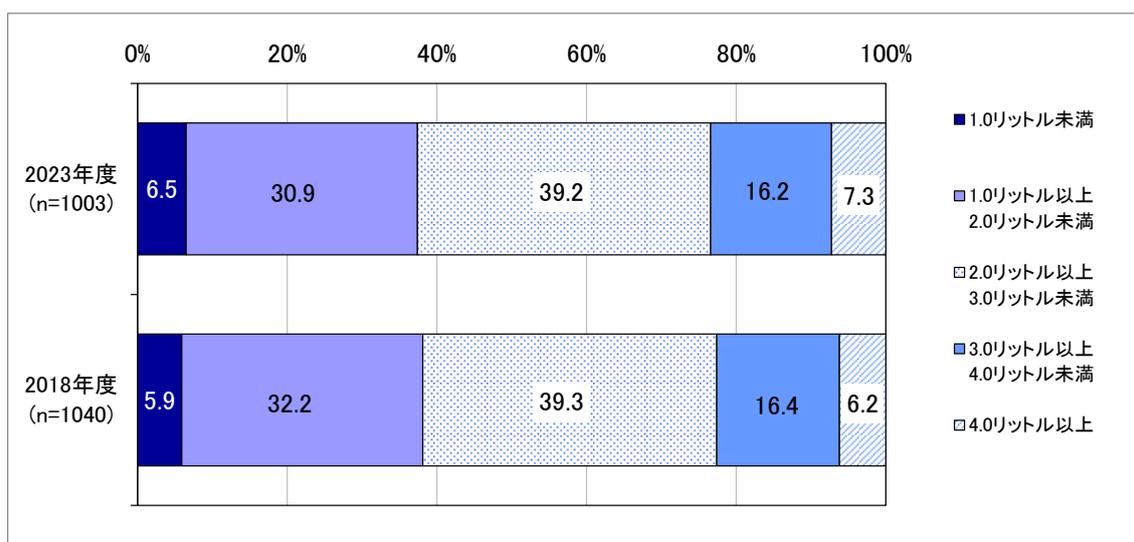


図 3 電気ポットの容量(単数回答)Q2

(3) 電気ポットの購入場所

電気ポットの購入場所については、「家電販売店」が 51.0% (512 件) で最も多く、次いで「インターネット通販」20.2% (203 件) であった。

2018 年度と比較して、「インターネット通販」が 8.2%増加した一方で、「家電販売店」が 8.1%減少した。

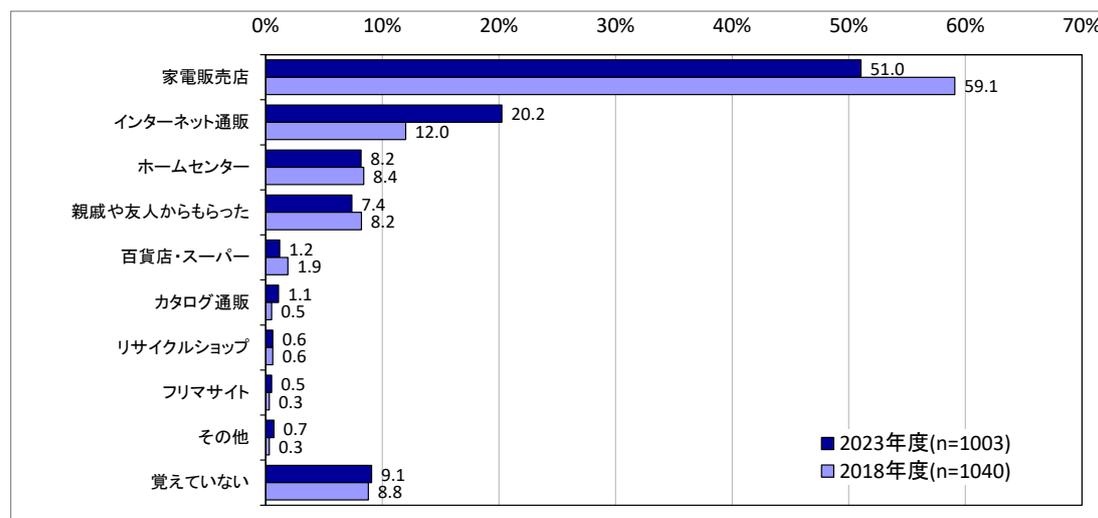


図 4 電気ポットの購入場所(単数回答)Q3

(4) 電気ポットは新品か中古品か

前問において、「リサイクルショップ」「フリマサイト」「親戚や友人からもらった」「その他」と回答した方を対象に、使用している電気ポットは新品で購入したか、中古品で購入したかをたずねた結果は以下のとおりである。

「新品」が 53.3% (49 件) で最も多く、次いで「もらい物などのため不明」が 27.2% (25 件)、「中古品」が 19.6% (18 件) であった。

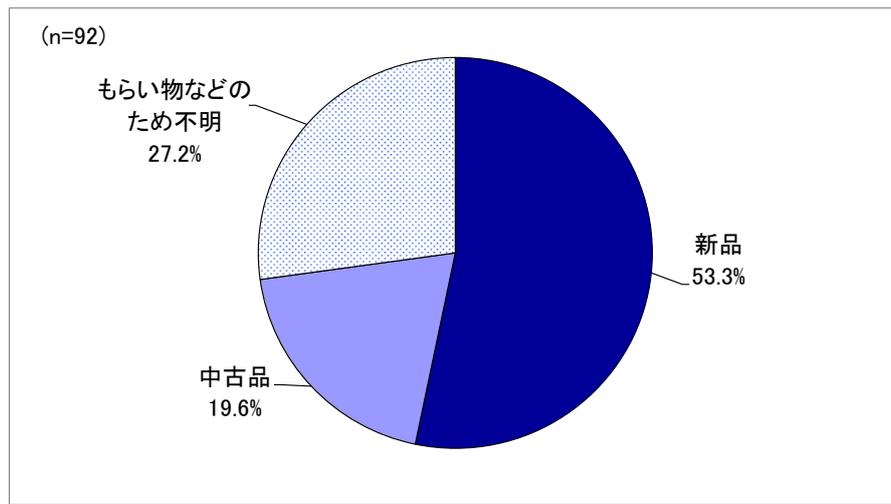


図 5 新品か中古品か(単数回答)Q4

(5) 電気ポットの購入の際の選択理由

購入の際にその電気ポットを選択した理由を3つまで聞いたところ、「価格」が56.1%（563件）で最も多く、次いで「容量」35.8%（359件）、「メーカー、ブランド」32.0%（321件）であった。

2018年度と比較すると、「覚えていない、わからない」が8.4%減少し、全体的に理由の選択率が増加した。

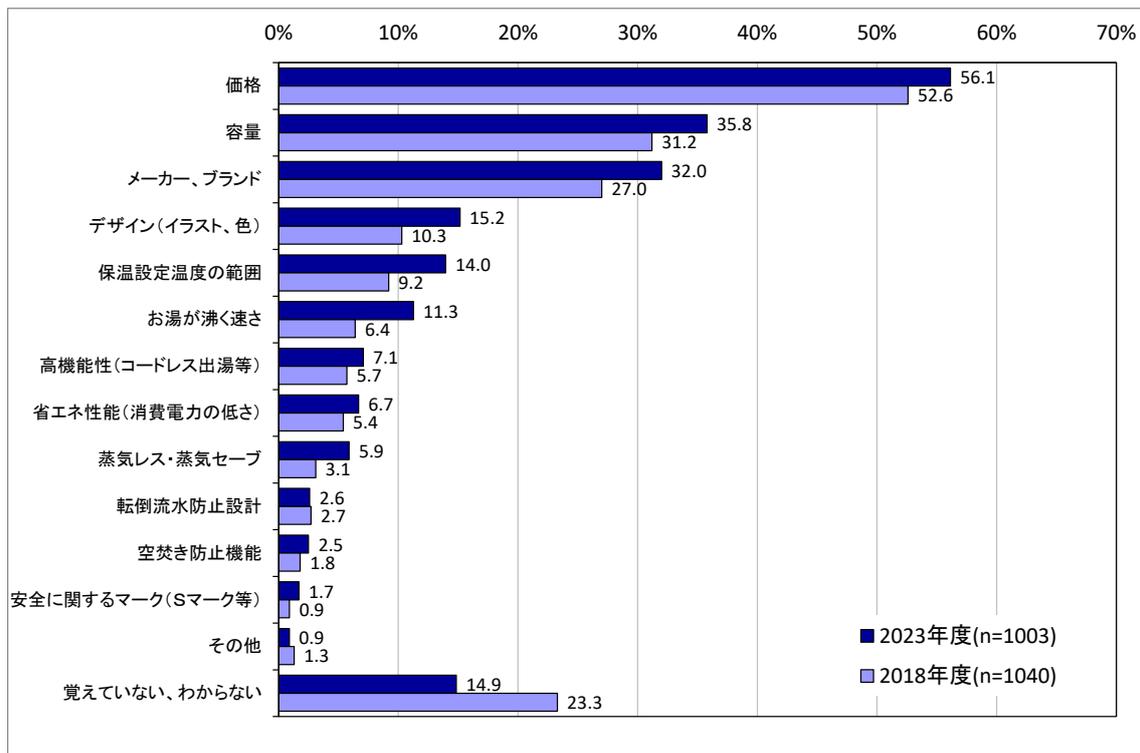


図 6 購入時の選択理由(3つまで)Q5

(6) 蒸気レス・蒸気セーブ機能

① 蒸気レス・蒸気セーブ機能有無

電気ポットの蒸気レス・蒸気セーブ機能の有無については、「蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いている」が45.0% (451件)、「蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いていない」が30.4% (305件)、「わからない」が24.6% (247件)であった。

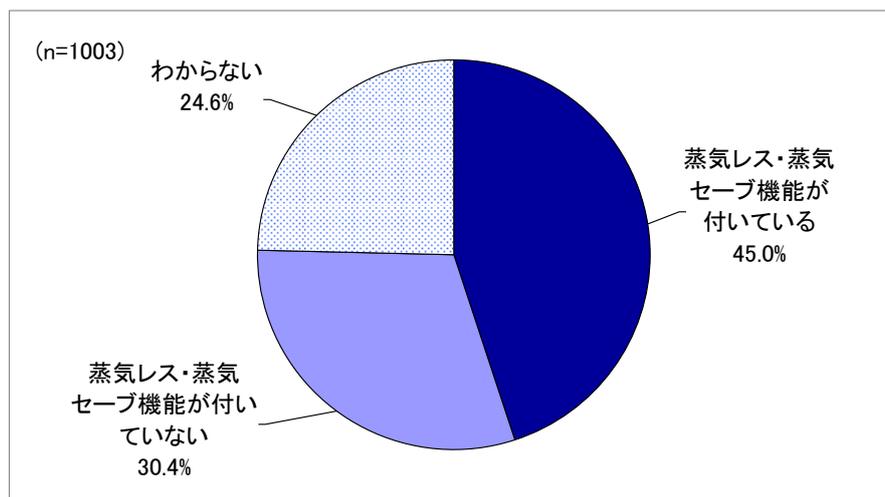


図 7 蒸気レス・蒸気セーブ機能有無(単数回答)Q6

② 蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いた商品を選択しなかった理由

前問において、「蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いていない」と回答した方を対象に、なぜ蒸気レス・蒸気セーブ機能付きの電気ポットを選択しなかったかをたずねた結果は以下のとおりである。

「蒸気レス・蒸気セーブの機能自体を知らなかった」が37.0% (113件)で最も多く、次いで「特に必要性を感じなかったから」が28.2% (86件)であった。

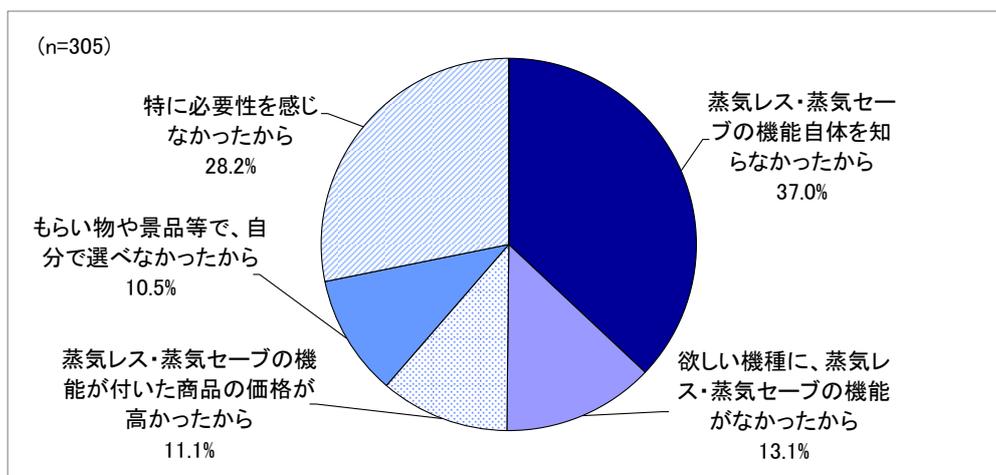


図 8 蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いた商品を選択しなかった理由(単数回答)Q6_1

(7) コードレス出湯機能

① コードレス出湯機能有無

給湯方式が電動給湯方式と回答した方を対象に、電気ポットのコードレス出湯機能の有無についてたずねた結果は以下のとおりである。

「コードレス出湯機能が付いていない」が 58.3% (440 件)、「コードレス出湯機能が付いている」が 26.5% (200 件)、「わからない」が 15.2% (115 件)であった。

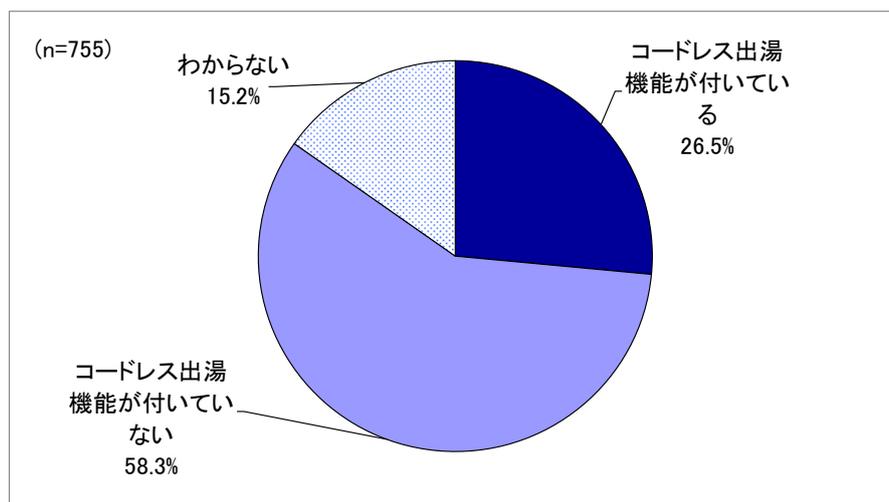


図 9 コードレス出湯機能有無(単数回答)Q7

② コードレス出湯機能が付いた商品を選択しなかった理由

前問において、「コードレス出湯機能が付いていない」と回答した方を対象に、なぜコードレス出湯機能付きの電気ポットを選択しなかったかをたずねた結果は以下のとおりである。

「コードレス出湯の機能自体を知らなかった」が 41.4% (182 件) で最も多く、次いで「特に必要性を感じなかったから」が 35.2% (155 件) であった。

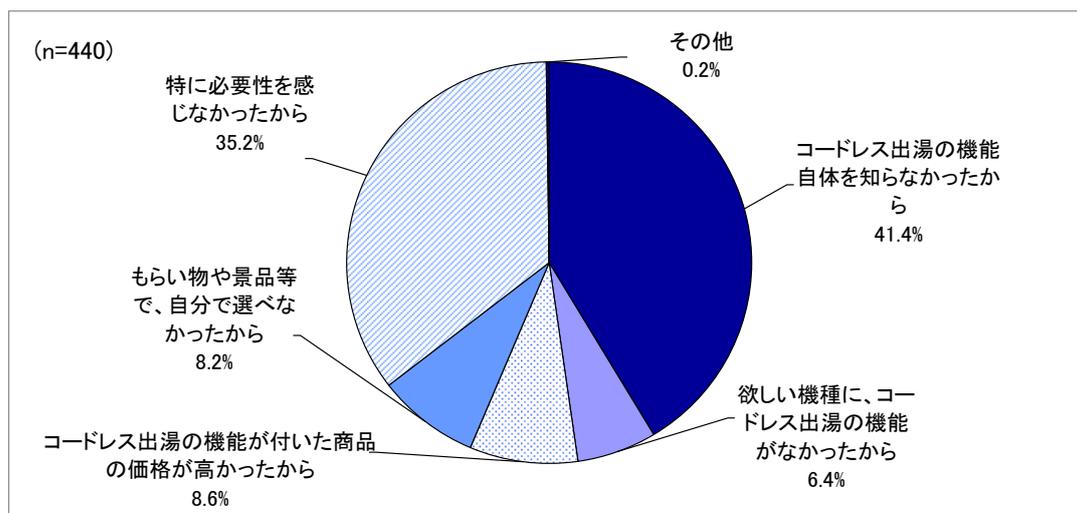


図 10 コードレス出湯機能が付いた商品を選択しなかった理由(単数回答)Q7_1

(8) 電気ポットの使用方法及び使用頻度

① 電気ポットの使用方法

電気ポットの使用方法については、「常にお湯を入れ保温している」が73.8%（740件）、「必要な量だけ沸かして、その都度使い切る」が26.2%（263件）であった。

2018年度と比較すると、「常にお湯を入れ保温している」が5.4%増加した。

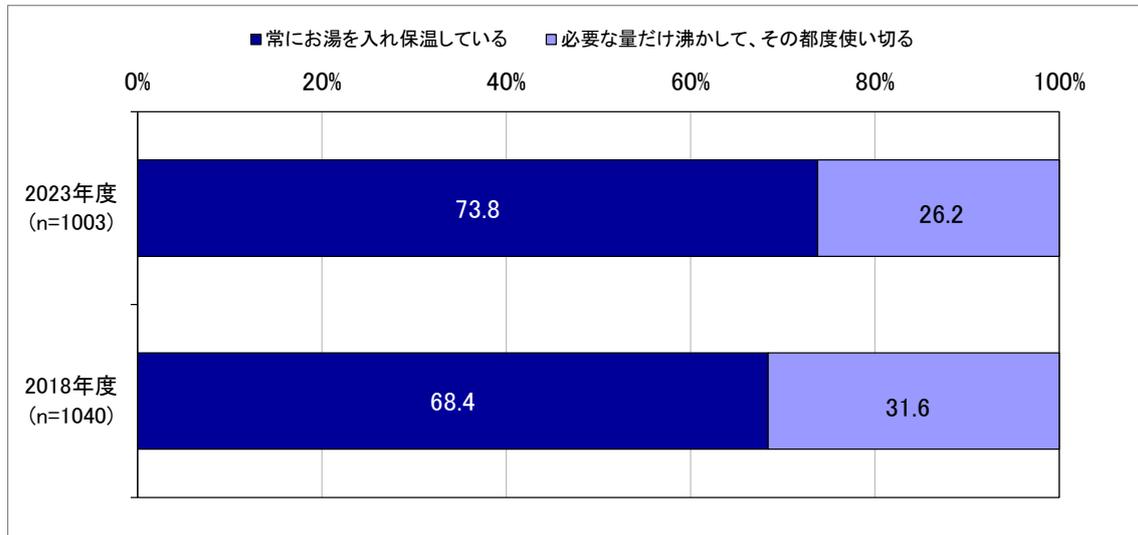


図 11 電気ポットの使用方法(単数回答)Q8

② 電気ポットのお湯を使う頻度

電気ポットのお湯を使う頻度を聞いたところ、「1日4回以上」が27.5%（276件）、「1日1回」が23.6%（237件）、「1日2回」が19.3%（194件）、「毎日使っていない」が15.3%（153件）であった。

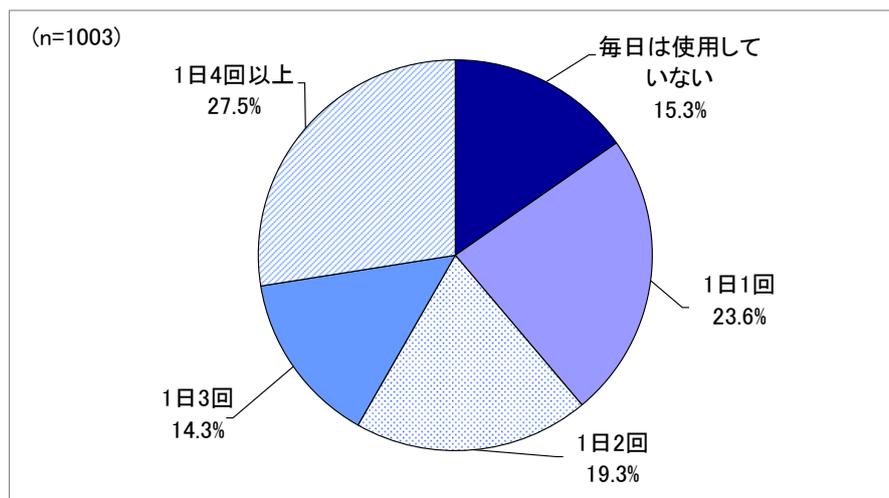


図 12 お湯を使う頻度(単数回答)Q8_1

(9) 電気ポットの使用場所（置き場所）

① 電気ポットのお湯を沸かす場所

お湯を沸かすときに電気ポットを置いている場所は、「台所の棚、ラック」が 51.8%（520 件）、「台所の調理スペース・流し台」が 36.1%（362 件）、「居室（洋室）のテーブル」が 4.0%（40 件）であった。

2018 年度と比較すると、「台所の棚、ラック」「台所の調理スペース・流し台」を合わせて 8 割半ばという傾向に変わりはなかった。

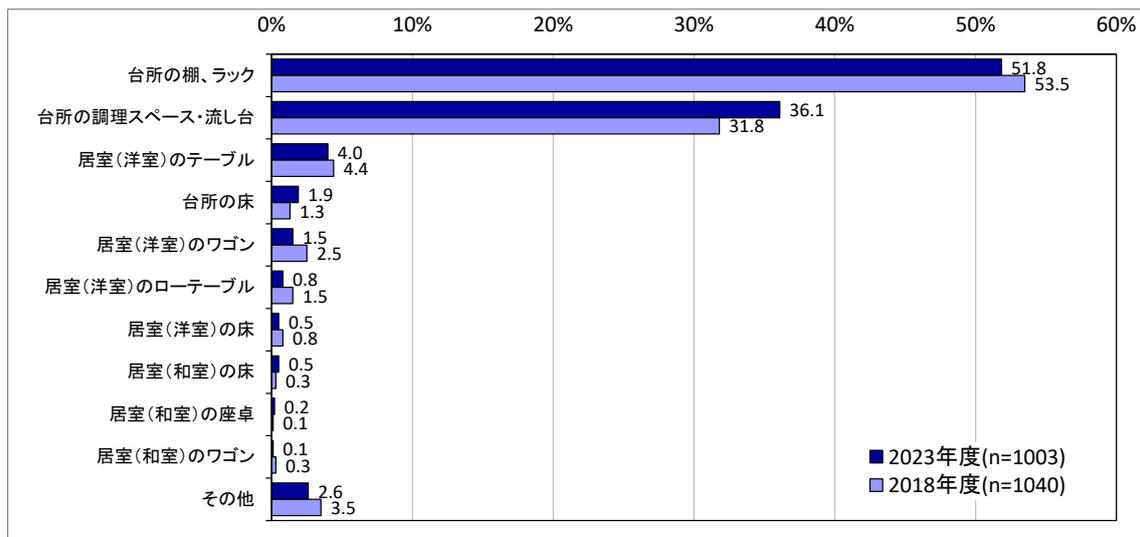


図 13 お湯を沸かす場所(単数回答)Q9_1

② 給湯する場所(お湯を使う場所)

給湯するときに置いている場所は、「台所の棚、ラック」が48.7% (488件)、「台所の調理スペース・流し台」が36.0% (361件)、「居室(洋室のテーブル)」が5.7% (57件)であった。また、約3%の人が台所や居室の床に置いていると回答した。沸かす場所と同一の回答をした人は全体の91.1% (914件)であり、ほとんどの人が場所を移動させずに使用していた。移動させて使用している人の中では「台所の棚、ラック」で沸かし、「調理スペース・流し台」で給湯を行っているケースが最も多かった(89件中25件)。

2018年度と比較して大きな差はなかった。

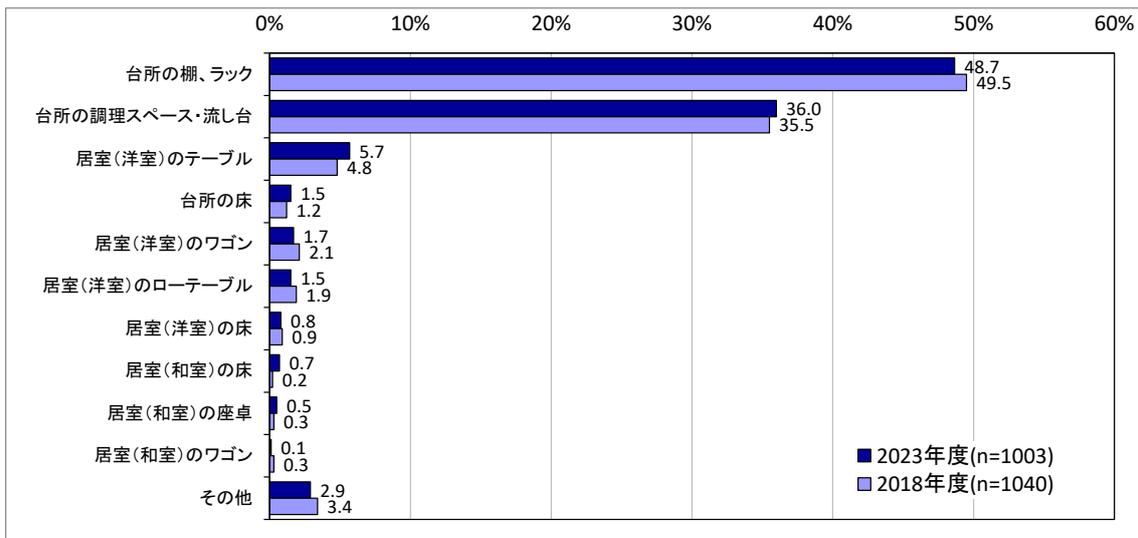


図 14 給湯する場所(単数回答)Q9_2

③ 電気ポットの使用方法別、給湯する場所

給湯する場所を電気ポットの使用方法ごとにみると、「常にお湯を入れ保温している」では「台所の棚、ラック」が53.8%（398件）で最も多いが、「必要な量だけ沸かして、その都度使い切る」では「台所の調理スペース・流し台」が46.0%（121件）で最も多くなっている。

2018年度と比較して大きな差はなかった。

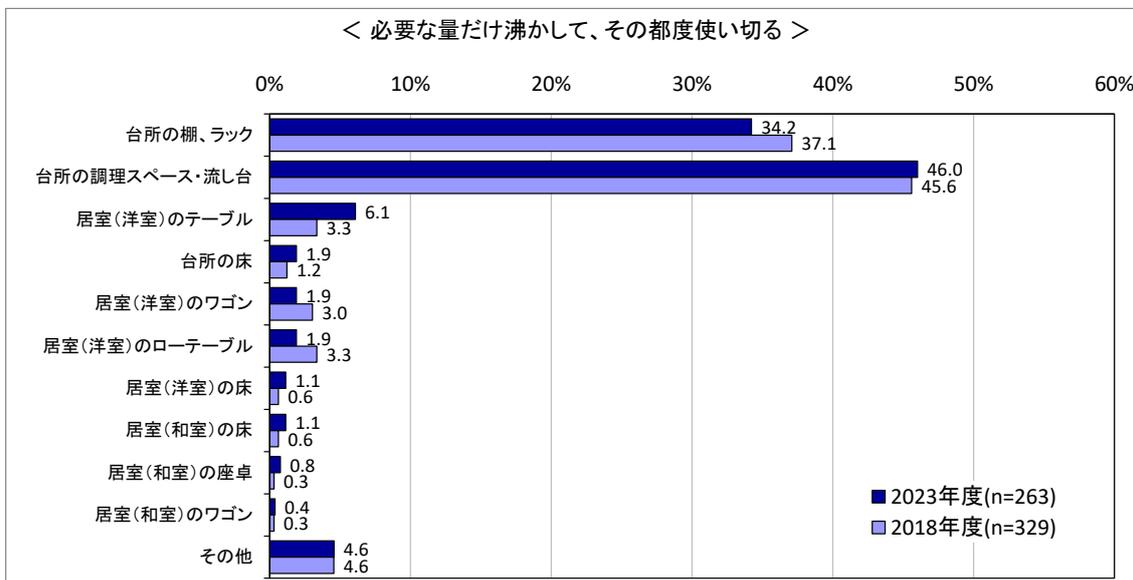
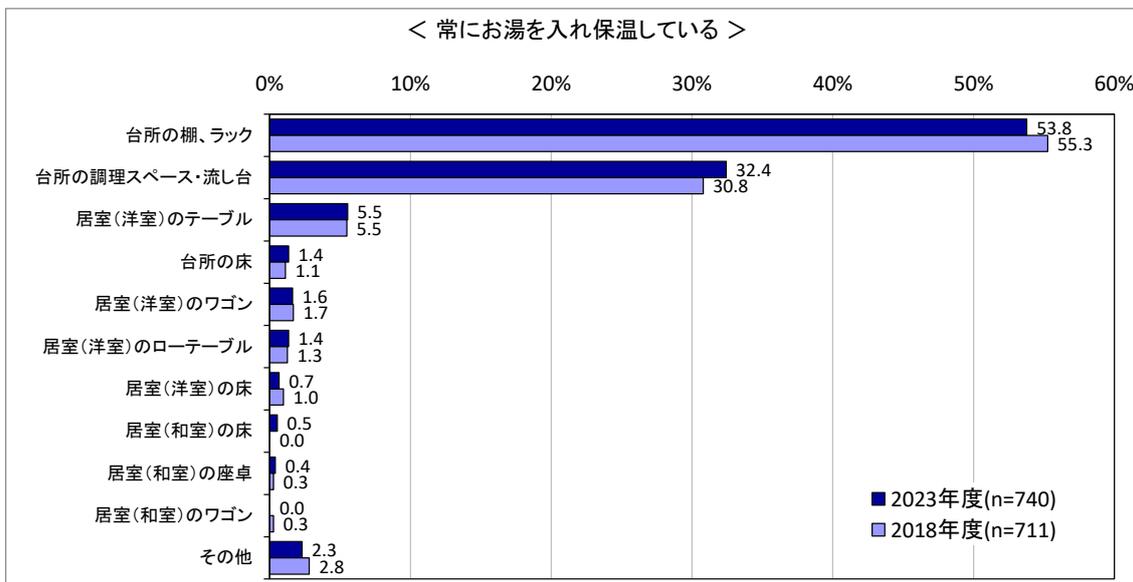


図 15 電気ポットの使用方法別、給湯する場所(単数回答) Q9XQ8

(10) 電気ポットの使用年数

現在使用している電気ポットの使用年数については、「1年以上3年未満」が31.2% (313件)、「3年以上5年未満」が26.6% (267件)、「5年以上10年未満」が21.1% (212件)であった。2018年度と比較して大きな差はなかった。

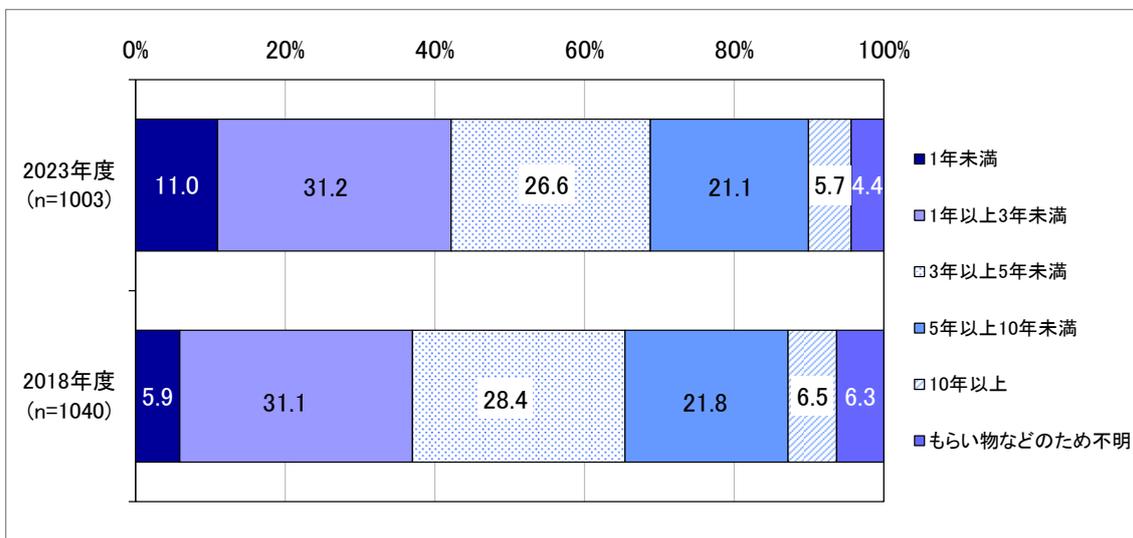


図 16 電気ポットの使用年数(単数回答)Q10

(11) 電気ポットの内蓋パッキンの交換について

メーカーでは内蓋パッキンについて定期的に確認し、損傷していたら交換することを推奨しているが、このことを知っていたか、また、使用中の電気ポットについて、パッキンを交換したことがあるかを聞いた結果は以下のとおりである。

「知らなかった」が 58.3% (585 件)、次いで「知っているが、まだその時期が来ていないため、交換していない」18.6% (187 件)、「知っているが、めんどうなので交換していない」10.7% (107 件) であった。

2018 年度と比較して大きな差はなかった。

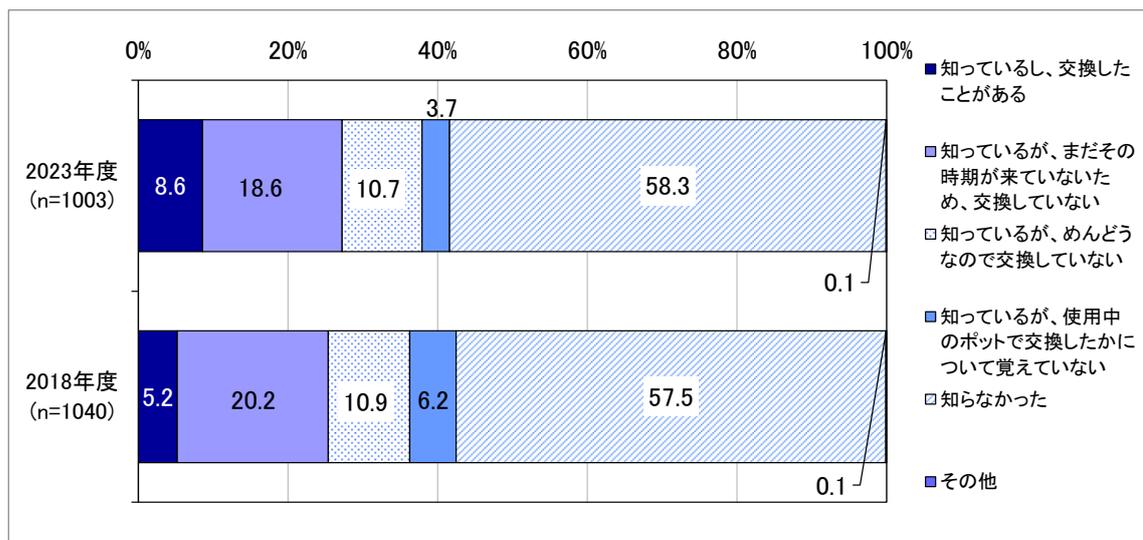


図 17 電気ポットの内蓋パッキンの交換について(単数回答)Q11

2 電気ポットによる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について

今までに、子供が電気ポットによるやけどをした、またはしそうな経験について質問した結果は以下のとおりである。

(1) 電気ポットによる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験

電気ポットによるやけどでの「危害」「ヒヤリ・ハット」経験については、全体の 21.4% (215 件) が何らかの経験をしている。

2018 年度と比較して、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験全体では 1.6%増加した。

表 1 電気ポットによるやけどでの「危害」「ヒヤリ・ハット」経験 Q12

	2023 年度		2018 年度	
	件数	割合	件数	割合
やけどをして入院した【危害①】	19 件	1.9%	8 件	0.8%
やけどをして病院へ行った【危害②】	35 件	3.5%	22 件	2.1%
やけどはしたが病院には行かなかった【危害③】	36 件	3.6%	46 件	4.4%
危ないと思ったが、やけどまではしなかった【ヒヤリ・ハット】	125 件	12.5%	130 件	12.5%
その他	0 件	0.0%	0 件	0.0%
小 計	215 件	21.4%	206 件	19.8%
特にない	788 件	78.6%	834 件	80.2%
計	1,003 件	100.0%	1,040 件	100.0%

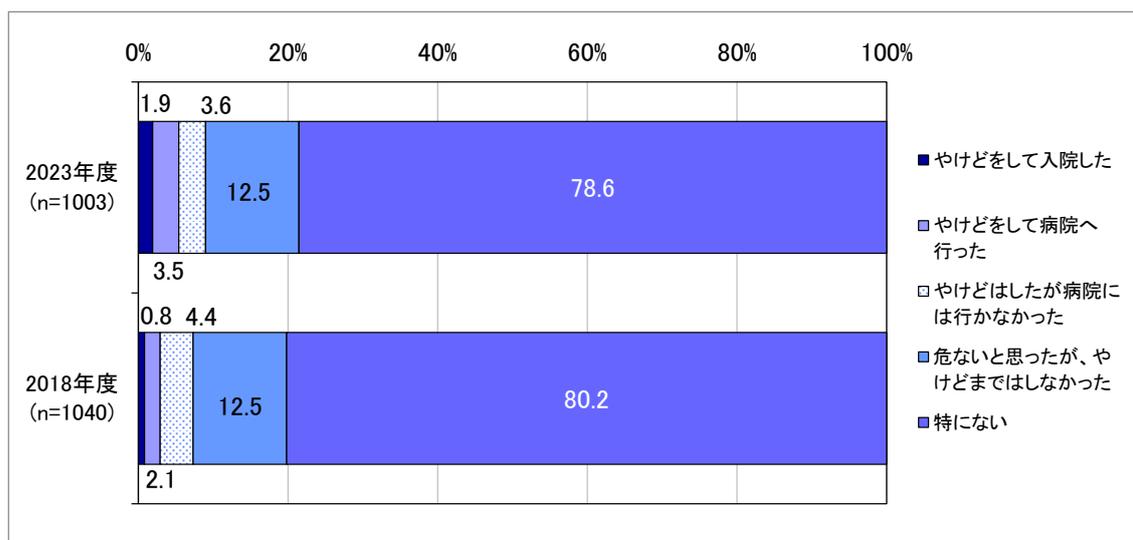


図 18 電気ポットによるやけどでの「危害」「ヒヤリ・ハット」経験 (単数回答) Q12

(2) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの子供の年齢

やけどをした、しそうになったときの子供の年齢については、「1歳」34.4%（74件）が最も多く、次いで「2歳」20.9%（45件）、「3歳」17.7%（38件）であった。0歳、1歳については月齢まで聞いており、1歳0か月から1歳6か月までが特に多いことがわかった。

実際にやけどをした子供の年齢についてみると、「1歳」36.7%（33件）が最も多く、次いで「3歳」22.2%（20件）、「2歳」18.9%（17件）が多かった。

2018年度と比較すると、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の平均年齢は2018年度2.04歳と2023年度2.11歳で大きな差がなかったが、「危害」経験に限定すると2018年度2.28歳から2023年度1.94歳と平均年齢の低下が見られた。

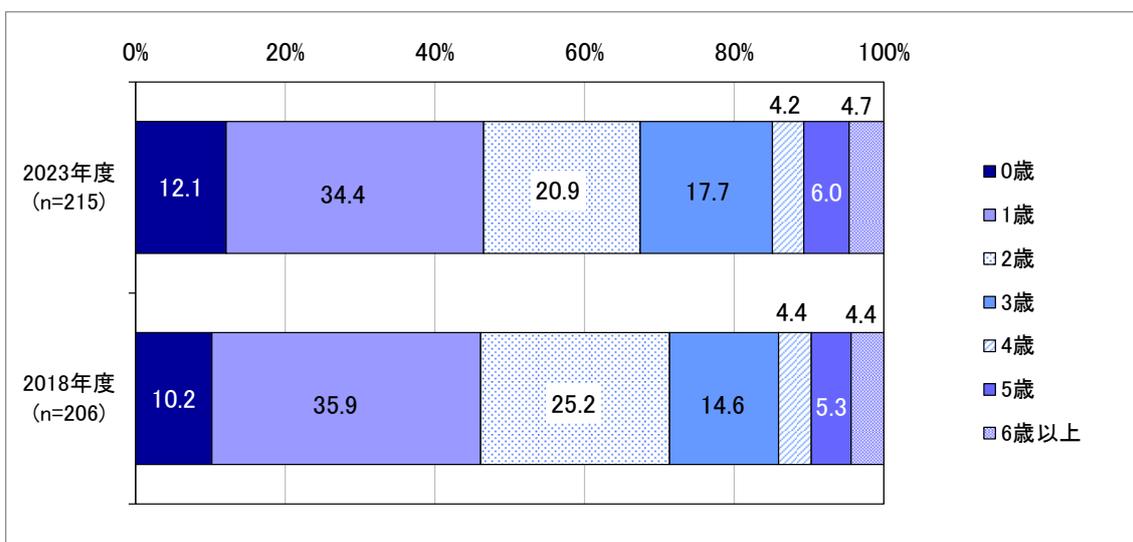


図 19 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの子供の年齢(単数回答) Q13

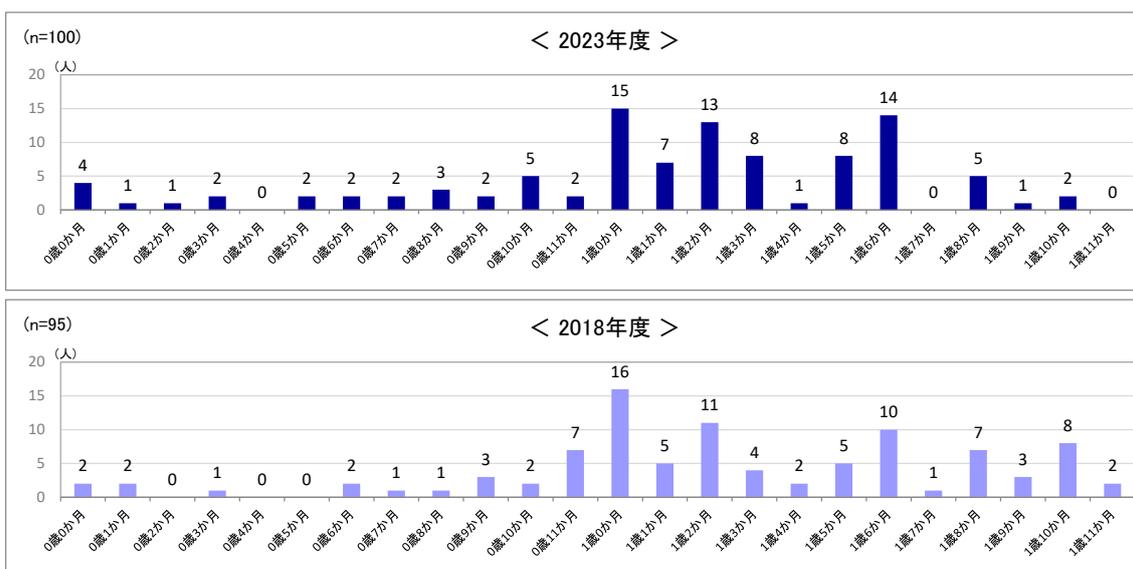


図 20 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの子供の月齢(0歳～1歳)(単数回答) Q13

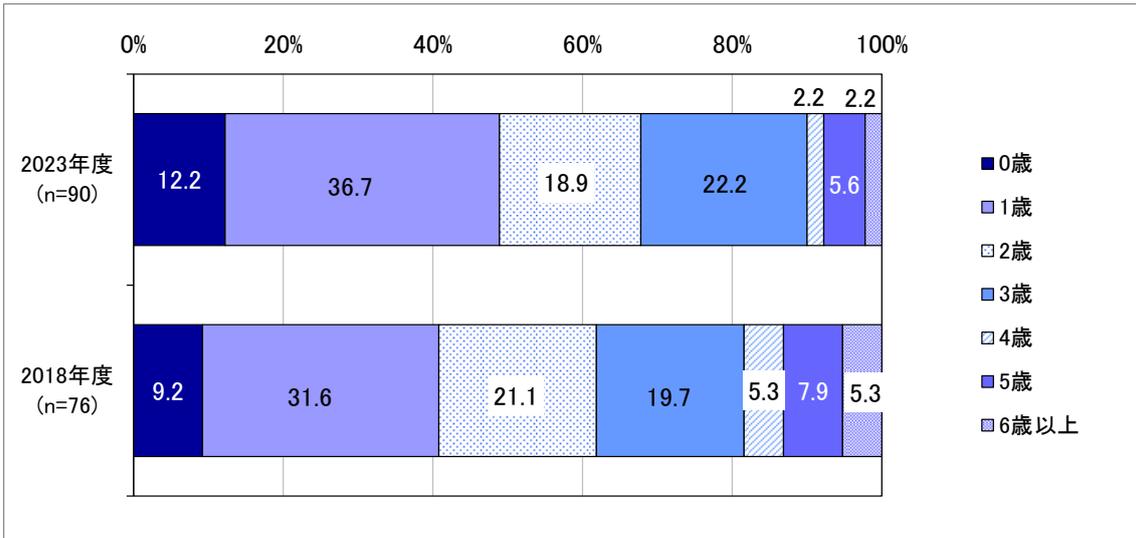


図 21 「危害」経験が起きたときの子供の年齢(単数回答)Q13XQ12

(3) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所

やけどをした、しそうになった場所については、「自宅」87.0% (187 件)、「祖父母・親戚の家」7.9% (17 件)、「友人の家」2.8% (6 件)であった。

2018 年度と比較すると、「自宅」が約 5%増加した。

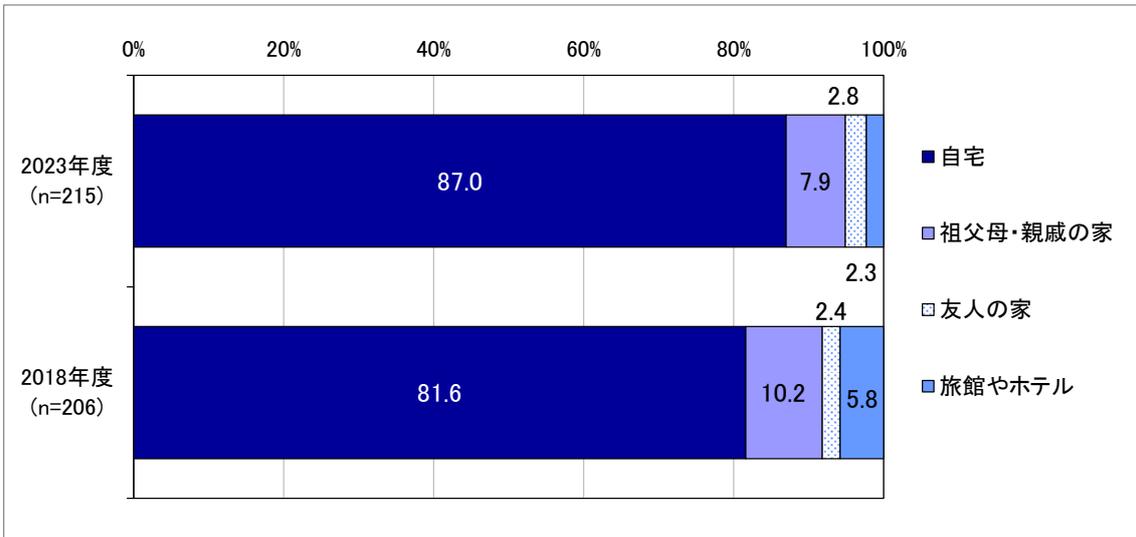


図 22 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所(単数回答)Q14

(4) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの電気ポットの置き場所

① 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの電気ポットの置き場所

やけどをした、しそうになったときの電気ポットの置き場所については、「台所の棚、ラック」36.3% (78 件)、「台所の調理スペース・流し台」21.4% (46 件)、「居室(洋室)のテーブル」11.6% (25 件)であった。

2018 年度と比較すると、台所各所の合計はともに 7 割弱で大きな差はなかったが、「台所の床」の比率が約 5%上昇した。

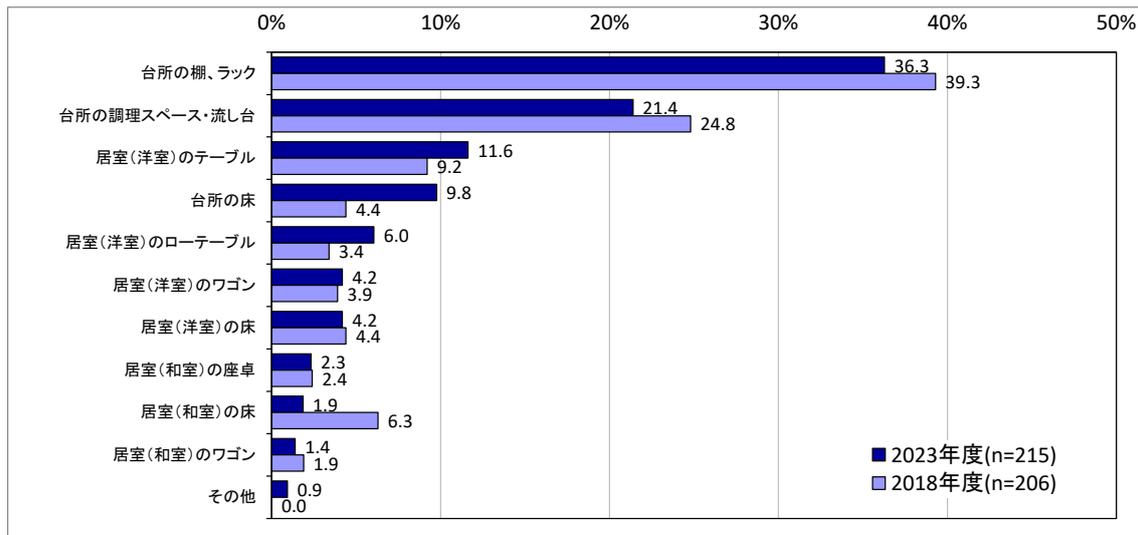


図 23 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの電気ポットの置き場所(単数回答)Q15

② 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験場所別、電気ポットの置き場所

やけどをした、しそうになった場所ごとに、電気ポットの置き場所をみると、「自宅」では台所が多く半数以上を占めるが、「祖父母・親戚の家」「友人の家」では居室が多く半数以上を占めている。

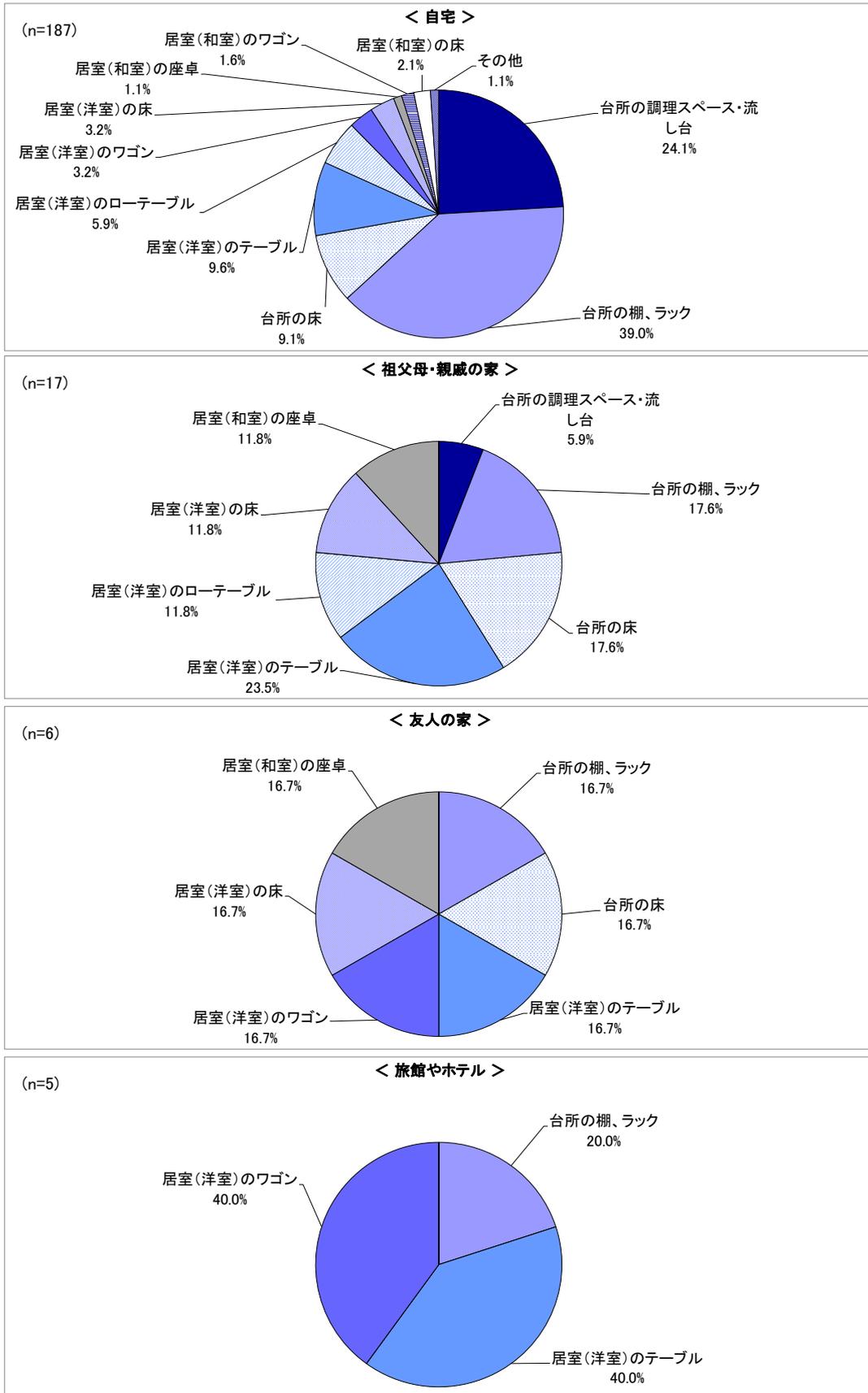


図 24 「危害」 「ヒヤリ・ハット」経験場所別、電気ポットの置き場所(単数回答) Q15XQ14

(5) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

① 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

(ア) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

やけどをした、しそうになったときの状況については、「子供自身が給湯操作した（しそうになった）」28.4%（61件）、「子供自身が衝突した（しそうになった）」24.2%（52件）、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」14.4%（31件）であった。

2018年度と比較すると、「子供自身が衝突した（しそうになった）」は15.5%増加した一方で、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」は8.9%減少した。

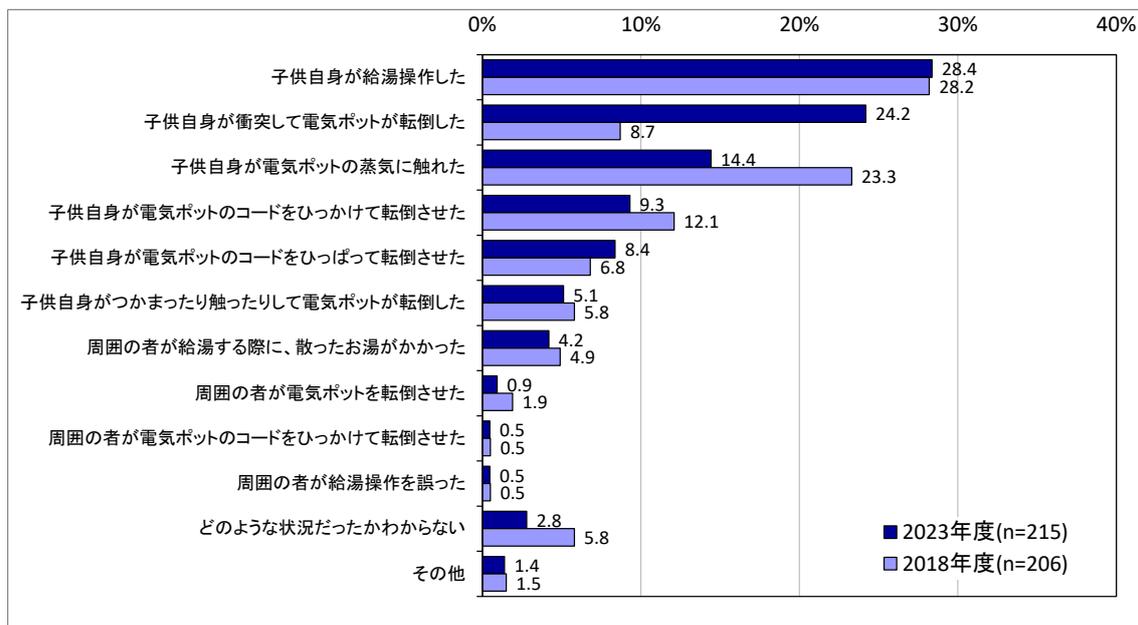


図 25 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(単数回答)Q16

(イ) 「危害」経験の状況

「ヒヤリ・ハット」を除き、実際にやけどをした 90 件について内訳をみると、「子供自身が給湯操作した」の割合が小さくなり、「子供自身が衝突した」45.6%（41 件）が多くなっている。

2018 年度と比較すると、「子供自身が衝突した」は 3 割以上増加した一方、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた」「子供自身が電気ポットのコードをひっかけて」はともに 1 割以上減少した。

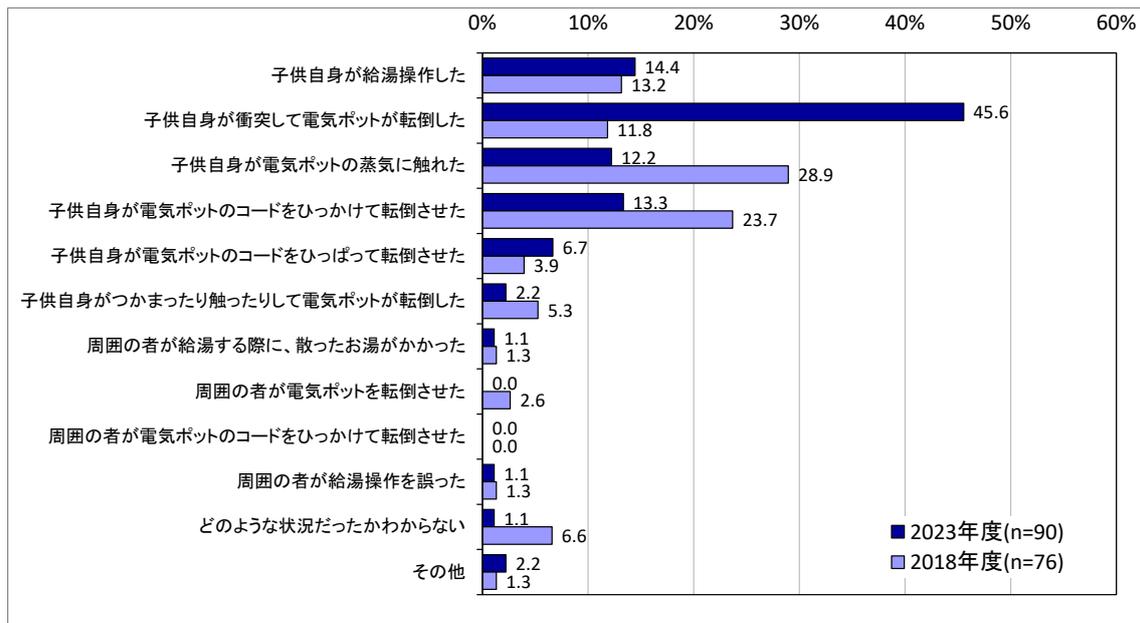


図 26 「危害」経験が起きた状況(単数回答) Q12XQ16

② 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況と年齢

やけどをした、しそうなったときの状況について、子供の行動が原因となっているものについて、それぞれの年齢分布は以下のようになっている。

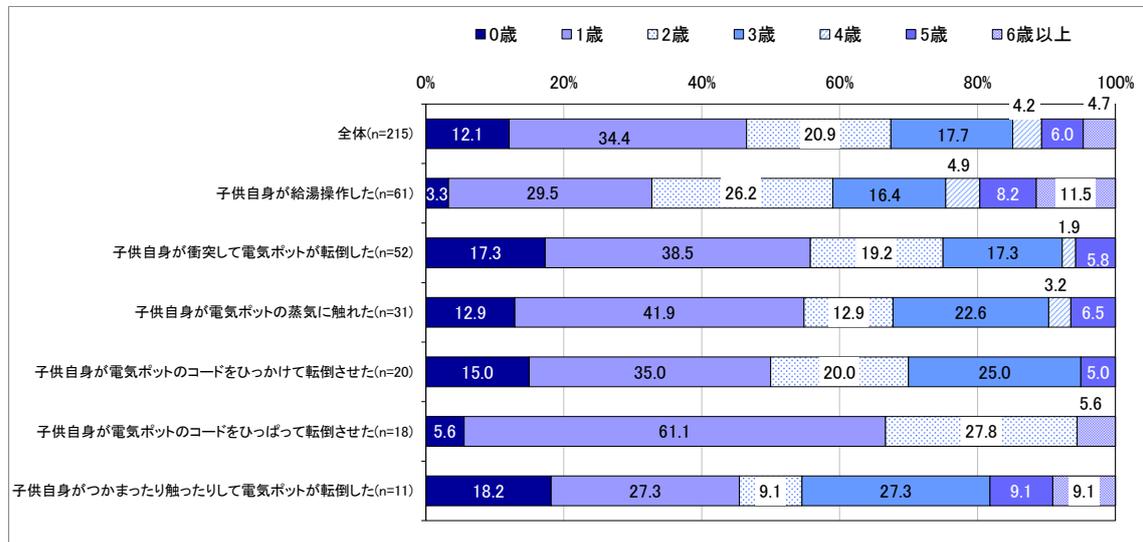


図 27 経験年齢別、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(単数回答)Q13XQ16

③ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験のときにお湯がこぼれたり出たりしたか

そのときにお湯がこぼれたり、出たりしたか聞いたところ、「はい」が 53.8% (91 件)、「いいえ」が 46.2% (78 件) であった。

(前問で「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた」「周囲の者が給湯する際に、給湯口から飛び散ったお湯がかかった」「どのような状況だったかわからない」の回答者を除いた 169 件に対して質問している。)

2018 年度と比較すると、「はい」「いいえ」の比率が逆転し「はい」がやや多くなった。

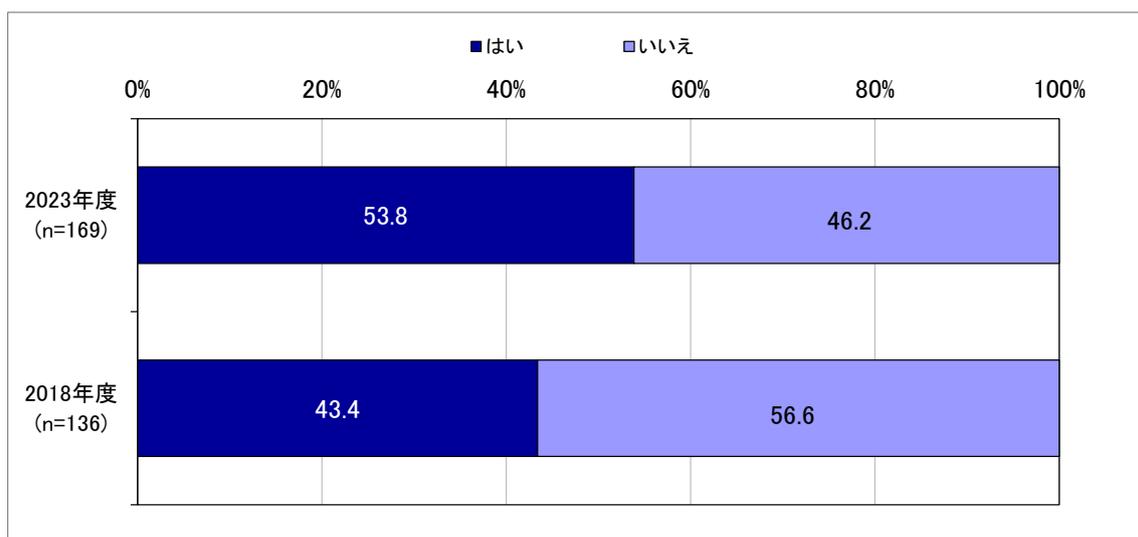


図 28 お湯がこぼれたり出たりしたか(単数回答)Q17

(6) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因となった電気ポットについて

① 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因となった電気ポットは「一番よく使う電気ポット」か

自宅で、やけどをした、しそうになった人に、経験の原因となった電気ポットは、今まで回答してきた「一番よく使う電気ポット」であるか聞いたところ、「はい」87.7%（164件）、「いいえ」12.3%（23件）であった。

2018年度と比較して、大きな差はなかった。

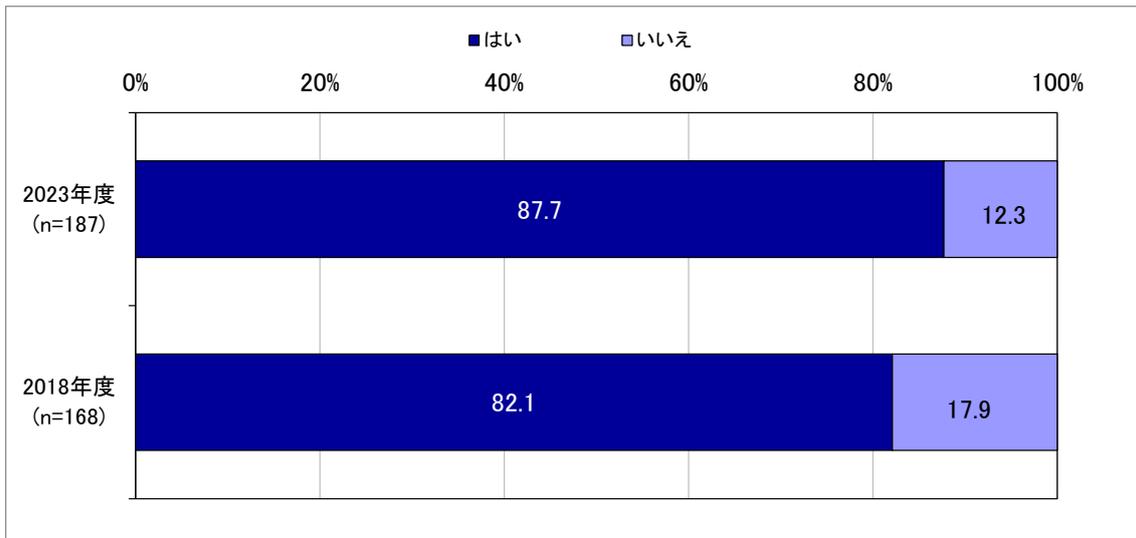


図 29 原因となったポットが一番よく使うポットか(単数回答)Q18

② 原因となった電気ポットの給湯方式(お湯の出し方)

やけどをした、しそようになった電気ポットの給湯方式(お湯の出し方)については、以下のとおりである。

(ア) 自宅でよく使う電気ポットでやけどをした(しそようになった)経験

「電動給湯方式」が67.7%(111件)と最も多く、次いで「電動給湯とエア－給湯の兼用式」が17.1%(28件)、「ハンディ給湯方式」7.9%(13件)であった。

2018年度と比較して、「電動給湯とエア－給湯の兼用式」が7.0%増加した一方で、「電動給湯方式」が12.0%減少した。

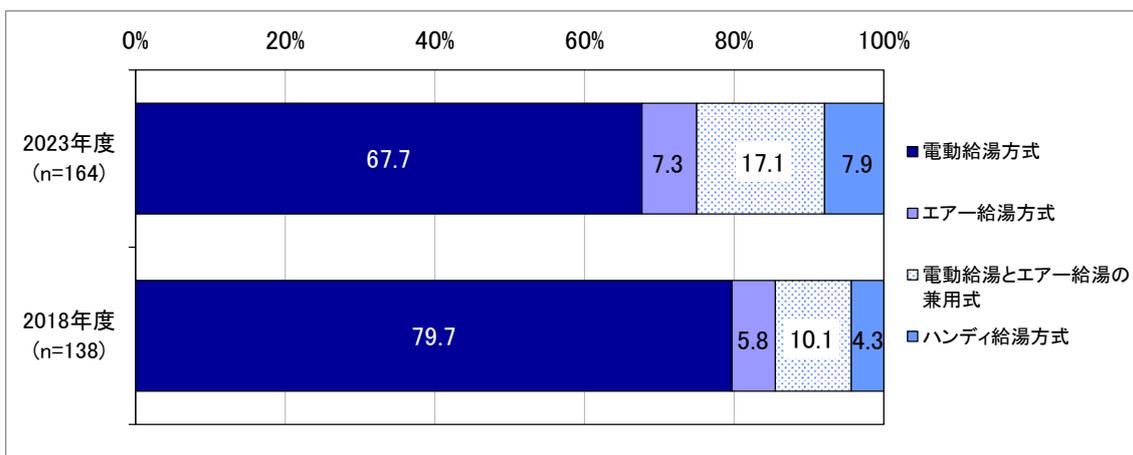


図 30 原因となった電気ポットの給湯方式:よく使うものと同じもの(単数回答)Q1XQ18

(イ) それ以外の電気ポットでの経験

「電動給湯方式」が51.0%(26件)と最も多く、次いで「エア－給湯方式」が23.5%(12件)であった。

2018年度と比較して、「エア－給湯方式」「電動給湯とエア－給湯の兼用式」「ハンディ給湯方式」がそれぞれ増加した一方で、「電動給湯方式」が12.2%減少した。

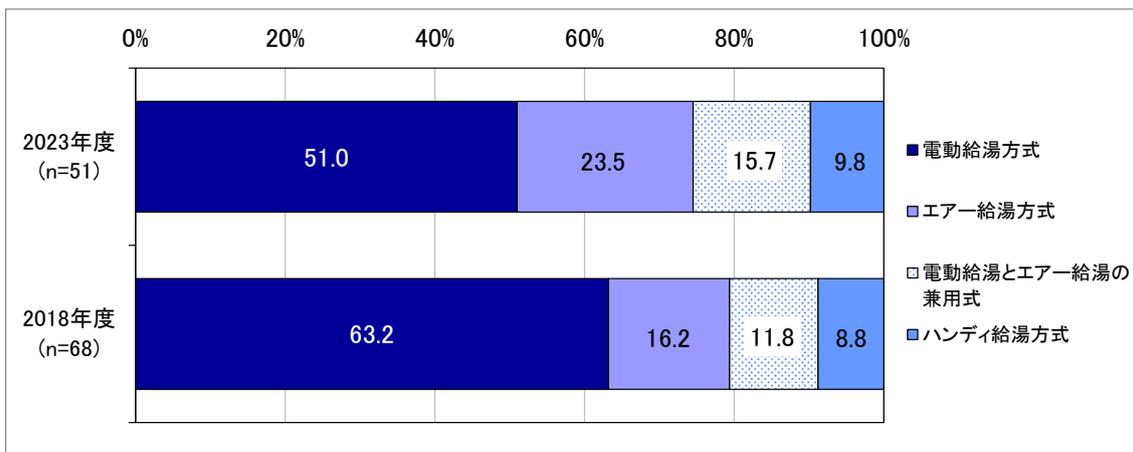


図 31 原因となった電気ポットの給湯方式:よく使うものとは別のもの(単数回答)Q18_1

③ 原因となった電気ポットの容量

やけどをした、しそようになった電気ポットの容量については、以下のとおりである。

(ア) 自宅でよく使う電気ポットでやけどをした(しそようになった)経験

「2.0リットル以上 3.0リットル未満」が40.2% (66件) で最も多く、次いで「1.0リットル以上 2.0リットル未満」が30.5% (50件)、「3.0リットル以上 4.0リットル未満」が15.2% (25件) であった。

2018年度と比較して、大きな差はなかった。

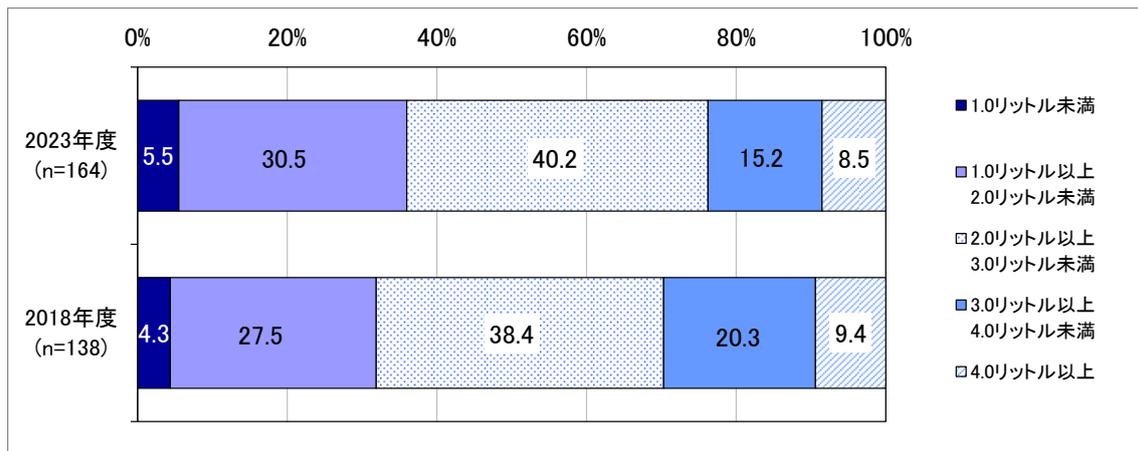


図 32 原因となった電気ポットの容量:よく使うものと同じもの(単数回答)Q2XQ18

(イ) それ以外の電気ポットでの経験

「1.0リットル以上 2.0リットル未満」が37.3% (19件) で最も多く、次いで「2.0リットル以上 3.0リットル未満」が35.3% (18件)、「3.0リットル以上 4.0リットル未満」が15.7% (8件) であった。

2018年度と比較すると、「3.0リットル以上 4.0リットル未満」が6.9%増加した一方で、2.0リットル未満が9.3%減少した。

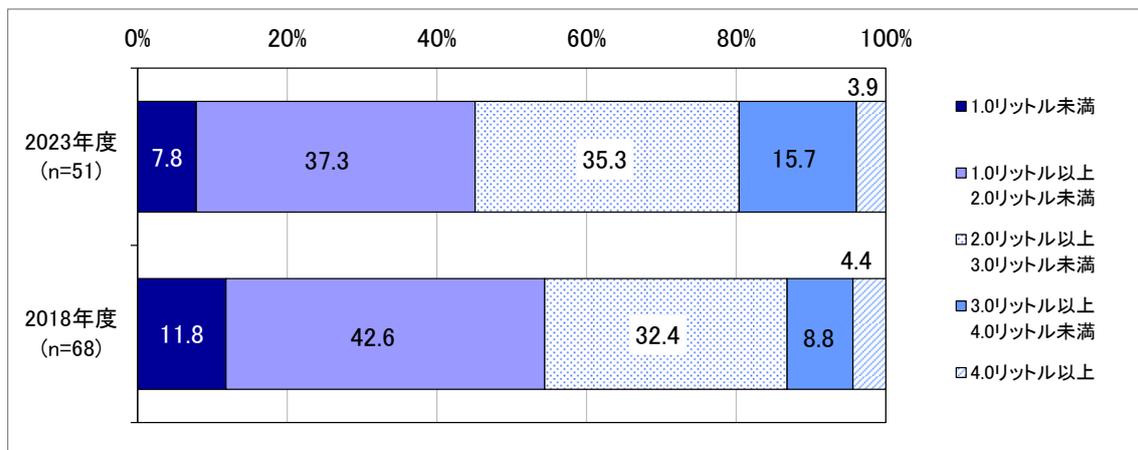


図 33 原因となった電気ポットの容量:よく使うものとは別のもの(単数回答)Q18_2

④ 原因となった電気ポットの使用年数

やけどをした、しそようになった電気ポットの使用年数については、以下のとおりである。

(ア) 自宅でよく使う電気ポットでやけどをした(しそようになった)経験

「1年以上3年未満」が35.4%（58件）で最も多く、「3年以上5年未満」32.9%（54件）、
「5年以上10年未満」15.2%（25件）であった。

2018年度と比較すると、5年未満が7.9%増加した一方で、「5年以上10年未満」が8.7%減少した。

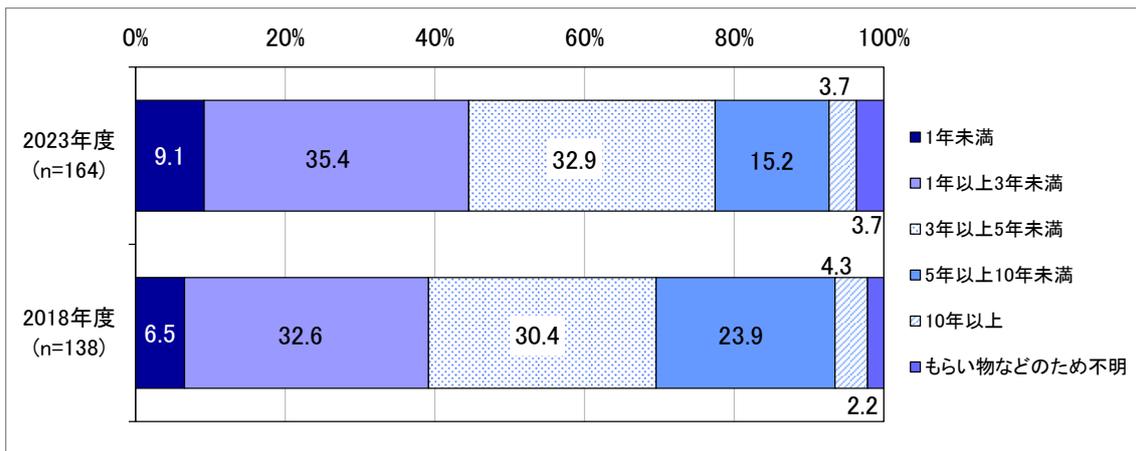


図 34 原因となった電気ポットの使用年数:よく使うものと同じもの(単数回答)Q10XQ18

(イ) それ以外の電気ポットでの経験

「3年以上5年未満」が47.1%（24件）で最も多く、「1年以上3年未満」25.5%（13件）、
「5年以上10年未満」13.7%（7件）であった。

2018年度と比較すると、「3年以上5年未満」が22.1%増加した一方で、「もらい物などのため不明」が15.2%減少した。

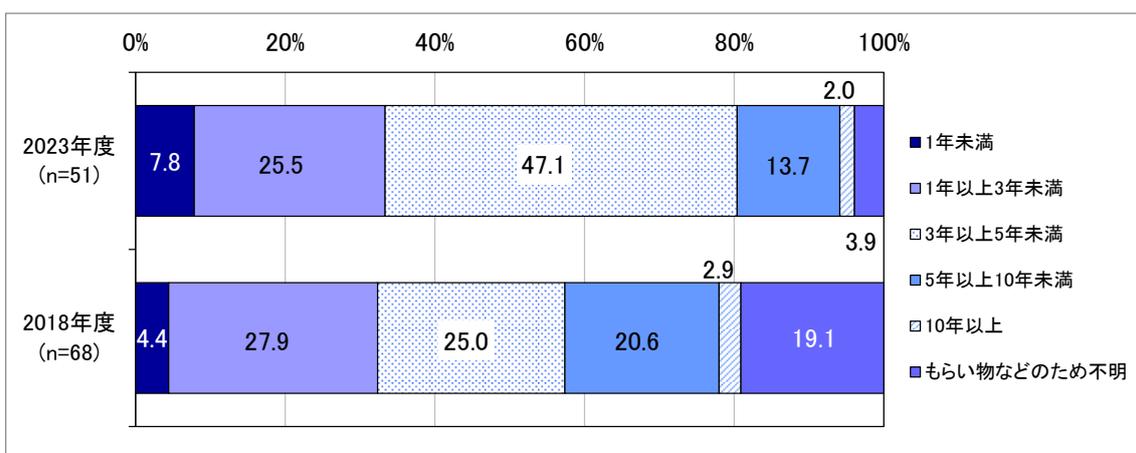


図 35 原因となった電気ポットの使用年数:よく使うものとは別のもの(単数回答)Q18_3

(7) 電気ポットに入っていたお湯の量

やけどをした、しそようになったときに、電気ポットにはどれくらいお湯が入っていたかについては、「半分くらい残っていた」50.7%（109件）、「満タンまたはほぼ満タンの状態」34.9%（75件）、「空、又はほとんど入っていなかった」8.8%（19件）であった。

2018年度と比較すると、「半分くらい残っていた」が18.7%増加した一方で、「覚えていない・わからない」が12.4%減少した。

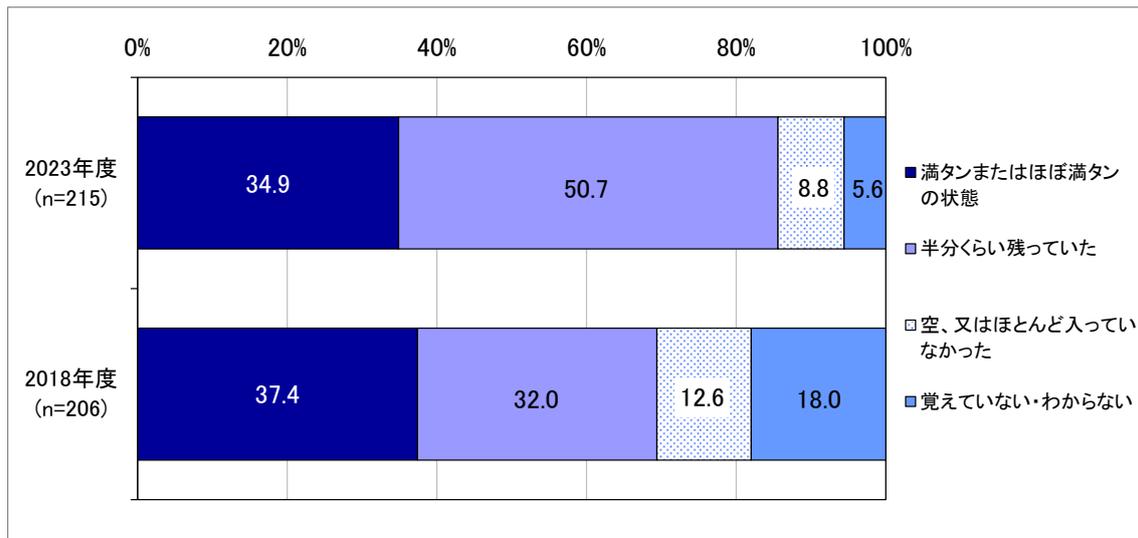


図 36 電気ポットに入っていたお湯の量(単数回答)Q19

(8) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験発生時の詳しい状況（自由記述）Q20

① やけどをして入院した【危害①】経験

やけどをして入院した 19 件のうち、やけどが発生したときの状況について記載のある回答を抜粋する（括弧内は「危害」「ヒヤリ・ハット」経験発生時の子供の年齢）。

【衝突して転倒】

- お湯を注ぐ時に当たった（1歳5か月）

【コードをひっかけて転倒】

- コードに引っかけてポットが落ちてきた（0歳11か月）
- 指で引っかけたら倒れた（2歳）

【コードをひっぱって転倒】

- 子供がコードを引っ張って倒した。蓋は閉まっていた。コードが届く位置にあったから発生した（1歳0か月）

【給湯操作した】

- 子供がポットで遊んでいたらやけどした（1歳3か月）

② やけどをして病院へ行った【危害②】経験

やけどをして病院へ行った 35 件のうち、やけどが発生したときの状況について記載のある回答を抜粋する。

【衝突して転倒】

- 子どもが机に寄りかかって机の上のポットが倒れてお湯が出た（1歳10か月）
- 不意にぶつかった（3歳）

【コードをひっかけて転倒】

- コーヒーを入れるために沸かしていたが、子供がぶつかって中身がこぼれて足にかかって火傷してしまった。コードに引っかかったのかもしれない（5歳）

【コードをひっぱって転倒】

- 夜、調理するためにシンクの端において沸かしていたら、コードを引っ張り頭から浴びてしまった（2歳）

【給湯操作した】

- 朝起きてきた子供がポットに手をつきボタンを押してしまい足にお湯がかかってしまった（2歳）
- 自宅で、子供が電気ポットから自分のコップにお湯を入れようとしていて、お湯が子供の手にこぼれて、子供の手に軽度のやけどを負った（3歳）

【蒸気に触れた】

- 子供がハイハイしだして、蒸気を面白がり、手をヤケドしてしまい、それ以降高い所に置き手が届かないようにした（1歳0か月）
- 椅子に立って、湯気に触ってしまった（1歳2か月）
- 親が目を離している間に、出てきた蒸気が気になったようで触ってやけどをした（3歳）

【周囲の者が給湯操作を誤った】

- 上の子2人が誤ってポットを操作。2番目の子の手の甲にお湯があたり、火傷した（2歳）

③ やけどはしたが病院には行かなかった【危害③】経験

やけどはしたが病院には行かなかった36件のうち、やけどが発生したときの状況について記載のある回答を抜粋する。

【衝突して転倒】

- 自宅のリビングでぶつかった（1歳2か月）
- 居間でこぼれた（3歳）
- つまずいてこぼした（3歳）

【コードをひっかけて転倒】

- 走り回って転んだ（2歳）
- 子供がコンセントにつまずいて、お湯がこぼれた（3歳）

【給湯操作した】

- お湯を出してしまって、火傷した（5歳）

【蒸気に触れた】

- 再沸騰しているときに、湯気で火傷した（1歳5か月）
- テーブルにポットをおいており、そのテーブルの上で子供がおもちゃで遊んでいた。ちょっと目を離した隙に泣き声が聞こえて、蒸気でやけどしていた（1歳6か月）

【その他:大人が給湯した後、給湯口を触った】

- 自宅台所にて、父親がコーヒーを飲むため、ポットから給湯した後、子供がポットの給湯口を触り、指先に軽度の火傷を負った（3歳）

④ 危ないと思ったが、やけどまではしなかった【ヒヤリ・ハット】経験

危ないと思ったが、やけどまではしなかった125件のうち、そのときの状況について記載のある回答を抜粋する。

(ア) やけどはしなかったが、実際にお湯がこぼれたり出たりした経験**【衝突して転倒】**

- 夕飯の最中、子供が動き回ってぶつかった。倒れた拍子にお湯もこぼれた（1歳1か月）
- お湯がこぼれたがほとんど入っていなかったため、やけどはしなかった（1歳5か月）
- 部屋を走り回っている時にぶつかってお湯が飛び散った（5歳）

【コードをひっかけて転倒】

- 少し目を離していたらコードに引っかかってしまった（2歳）

【コードをひっぱって転倒】

- 目を離したときに子供がポットに近寄って倒してしまった（2歳）

【給湯操作した】

- 自分たちがコーヒーやお茶を作るのに使っているのを見て学んだようで、目を離している隙にポットをいじり手に熱湯をかけてしまった（2歳）
- ポットのロックはかかっていたが、ロックの外し方を分かるようになってしまい、ダメと怒っても目を離した隙にお湯を出してしまった（3歳）
- 自宅で親の真似をしてポットを操作。蓋は閉まっていた。ロックがかかかっていなかった（5歳）

【その他：給湯後の湯の滴下】

- ポットを台の手前のふち辺りに置いていて、コップにお湯を入れてボタンを離したあと真下にいた子供の手にお湯の雫が落ちた（3歳）

(イ) お湯がこぼれたり出たりしなかった経験**【衝突して転倒】**

- ポットにぶつかったが何事も無かった（1歳0か月）

【コードをひっかけて転倒】

- 電気ポットで遊んでいた（2歳）
- 子供が転んでその拍子で（3歳）

【コードをひっぱって転倒】

- コンセントの差し込み口で遊んでいた際に、それを引っ張って本体が転倒しそうにはなかった（1歳6か月）
- 夕飯の支度中、台所についてきた子供にコードを引っ張られて倒れそうになった。近くにいたので、すぐに支えることができたので倒れなかった（1歳6か月）
- コードを引っ張って落とした（2歳）

【給湯操作した】

- 夕食時、イスによじ登ってボタン操作をしそうになったので、慌てて止めた（0歳8か月）
- 高いところに置いているが、子供の背が伸びて届くようになり、興味を持って触るようになってしまった（1歳0か月）
- 子どもが給湯口に指を入れて給湯ボタンを押そうとした（1歳2か月）
- 目を離したすきに、子供がポットのボタンであそんでいた（1歳5か月）
- 台所にある棚の上に置いてあったポットに手を伸ばしお湯を出そうとしたがロック機能があった為、やけどはすることはなかった（1歳6か月）
- 夕飯の用意中、母親の側に居たくて、たまたま目に入った電気ポットを触りだし、ロックはしてあったが子供自身でロックを解除しようになった（1歳10か月）
- 棚に上り、触ろうとしたが見ていたのを止めた。ロックはかかっていた（2歳）
- 子どもが手を伸ばして触っていた（2歳）
- 踏み台に乗ってロックを解除しようとしていた。大人がすぐに気付き、ロックが解除さ

れる前にその場を離れたのでお湯がこぼれたりすることはなく、大事には至らなかった
(2歳)

- 私が使った後に給湯ボタンを押したが、運良くロックボタンがかかりお湯が出なかった
(2歳)
- 子供が自分で椅子に上がり、ポットをいじり始め、色々なボタンを押していた (2歳)
- 大人が周りにいない時にボタンを押しそうになった (3歳)
- 親の真似しておままごとの感覚で操作したようで、ロックされていたのでお湯は出なかったがヒヤリとした。冬場で便利なので手の届く場所に置いてしまった (3歳)
- 台所のラックに置いていたところ、ロックが解除されていた給湯ボタンを押しそうになった (4歳)
- 押しそうになったので止めた (5歳)
- 給湯のボタンを押したが、ロック解除がされていなかったために防げた (5歳)

【つかまったり触ったりして転倒】

- 夜、居間で子供がつかまり立ちしたところにポットがあり、それを掴んで倒しそうになっていた (0歳10か月)
- 子供はつかまり立ちを覚えてなんでもつかまり立つ時期だった。リビング内を自由にハイハイさせていたら、電気ポットをはじめとする家電が置いてあるラックに向かい、倒しそうになっていた (0歳10か月)
- 忙しくてバタバタしているときに、ちょっと目をはなしたらポットに手を触れていた (5歳)

(9) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因

やけどをした、しそうになった原因は何であったと考えられるか聞いたところ、「子供の手が届くと思わなかった」が38.1%（82件）で最も多く、「子供の手が届くと思っていたが、触れないような対策をしていなかった」34.0%（73件）、「置き場所が悪かった」33.0%（71件）であった。

2018年度と比較すると、「特に思いつかない」が9.3%減少し、全体的に原因の選択率が増加した。

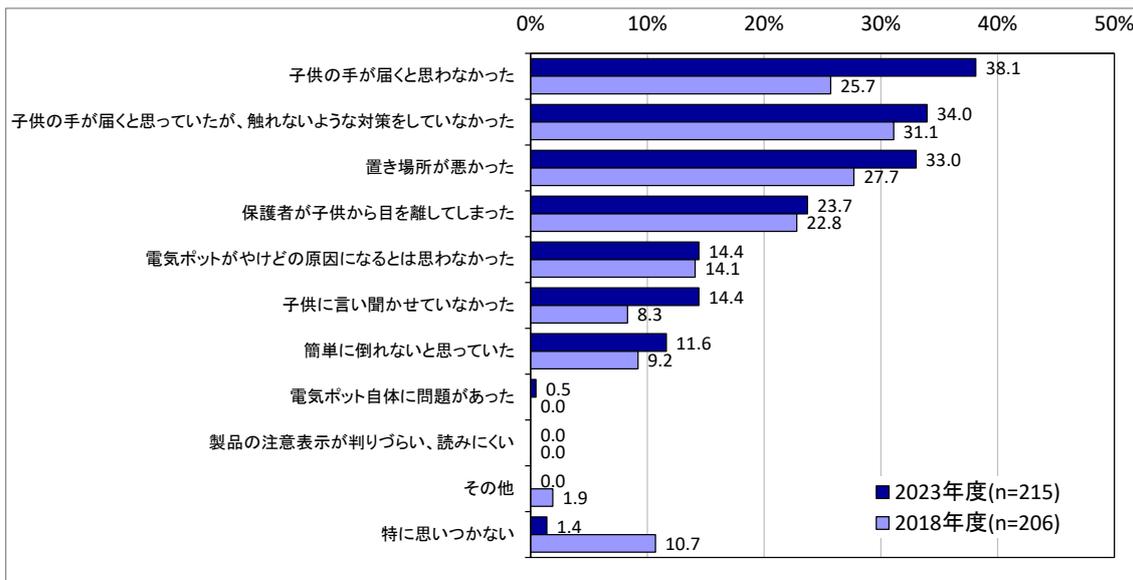


図 37 考えられる原因(複数回答)Q21

(10) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の際の製品についての報告の有無

やけどをした、しそうになったとき、製品についてどこかに報告（相談や情報提供を含む）をしたかについては、「報告しなかった」が56.3%（121件）で最も多く、「メーカー」27.0%（58件）、「販売店」16.7%（36件）であった。

報告しなかったと回答した人に、その理由を聞いたところ、「保護者の不注意だから」「やけどや怪我はなかったから」が多くを占めていた。

2018年度と比較すると、「メーカー」が12.4%増加した。

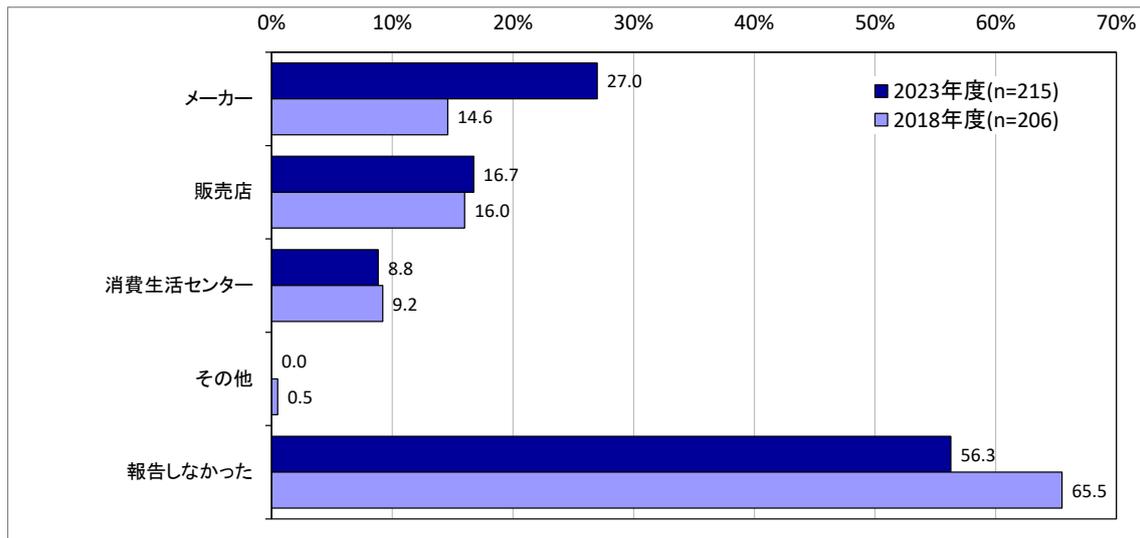


図 38 やけどした、しそうになったとき製品についてどこかに報告をしたか(複数回答)Q22

3 電気ポットの危険性について

ここからの質問は、調査対象者全員（1,003人）に聞いている。

(1) 電気ポットの危険性について

① 電気ポットの取り扱いについて、危険性を感じているか

子供のいる環境において、電気ポットの取り扱いについて、危険性を感じているかについては、「多少は危ないと感じている」が40.1%（402件）で最も多く、次いで「とても危ないと感じている」21.3%（214件）、「それほど危ないとは感じていない」20.8%（209件）、「危ないと感じていない」17.7%（178件）であった。

2018年度と比較すると、危ないと感じている人が4.7%増加した。

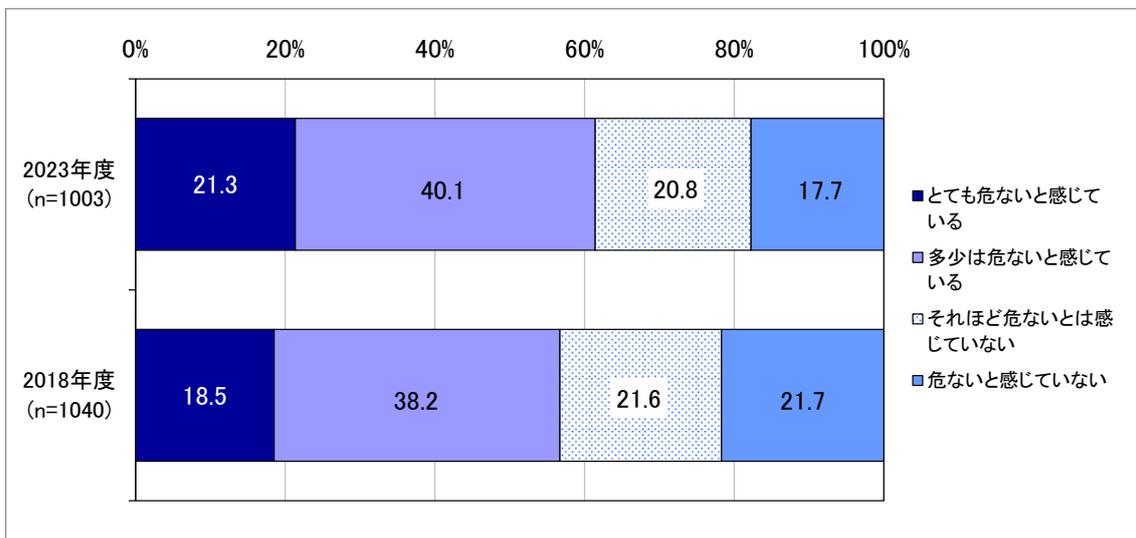


図 39 電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているか(単数回答)Q23

② 年齢別、電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているか

回答者の年齢別に電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているかをみると、「50歳以上60歳未満」が最も危険性を感じており、20歳～50歳未満は若い層程危険性を感じていた。

一方、年齢別の「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の有無については、「20歳以上30歳未満」が最も経験が多かった。

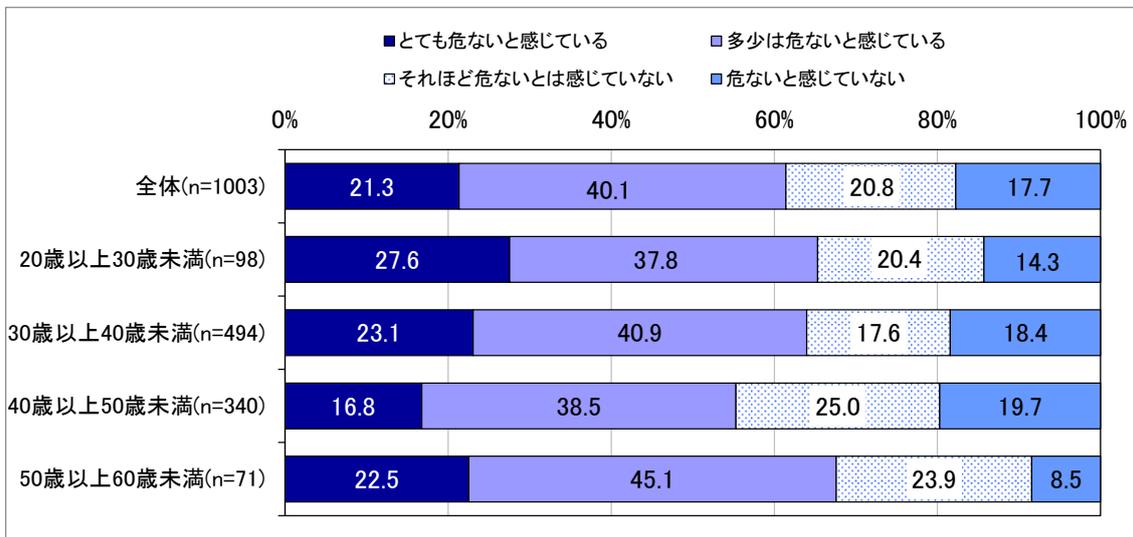


図 40 回答者年齢別、電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているか(単数回答) Q23XSC2

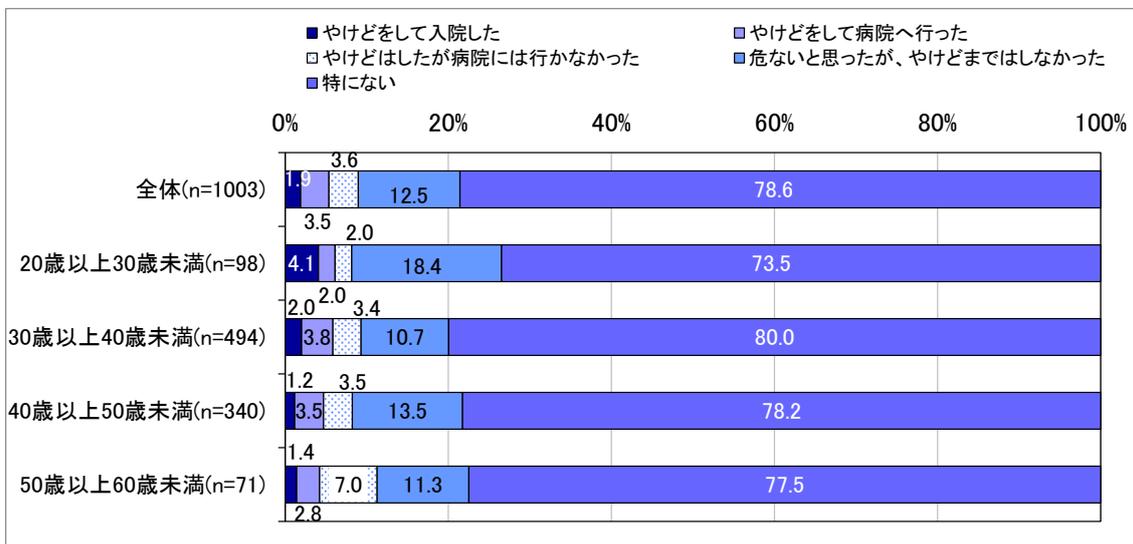


図 41 回答者年齢別、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験(単数回答) Q12XSC2

③ 電気ポットのどのような点に危険を感じているか

前問で「とても危ないと感じている」「多少は危ないと感じている」と回答した人に、どのような点に危険を感じているか聞いたところ、「子供がボタンを触りそう」が50.0%（308件）で最も多く、次いで「子供が蒸気に触れそう」43.3%（267件）、「子供がぶつかって転倒させそう」33.1%（204件）であった。

ぶつかったり、ひっかかったりして転倒させることよりも、子供の興味本位の行動（ボタンを触りそう、蒸気に触れそう）に危険を感じている人が多い。

2018年度と比較すると、選択比率に多少変化はあるが、子供の興味本位の行動が上位2つであるという傾向は変わらなかった。

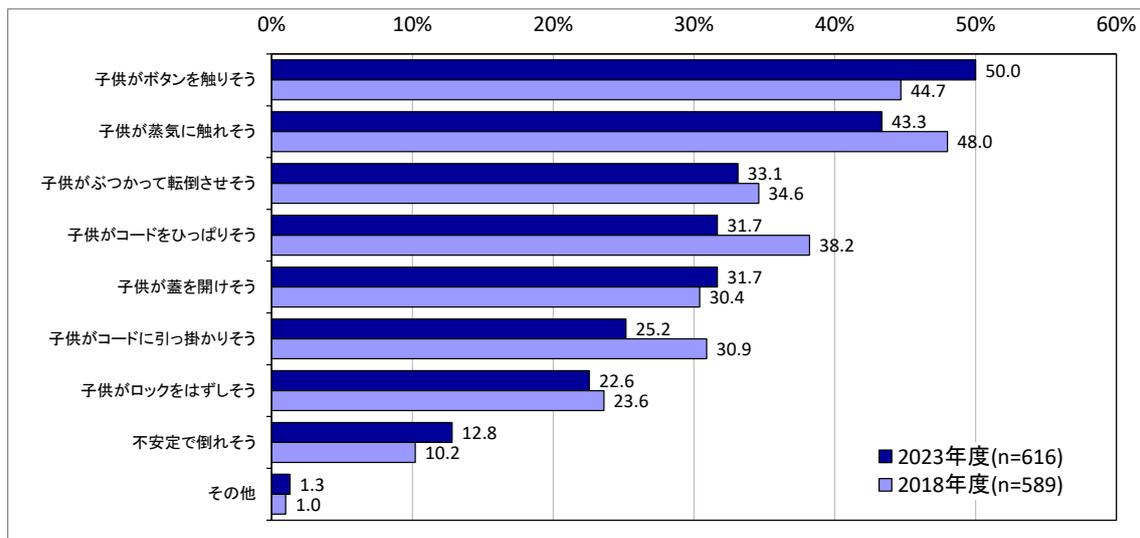


図 42 電気ポットのどのような点に危険を感じているか(複数回答)Q24

(2) 電気ポットによる事故を防ぐための対策

電気ポットによる事故を防ぐために、どのような対策をしているかとの質問については、「電気ポットを置く場所に配慮している」が51.9%（521件）で最も多く、「子供が危ない行動をしたときに注意している」24.9%（250件）、「必ず子供の側で見守っている」23.2%（233件）であった。

2018年度と比較すると、「電気ポットを置く場所に配慮している」が5.2%増加した一方で、「特に対策はしていない」が4.2%減少した。

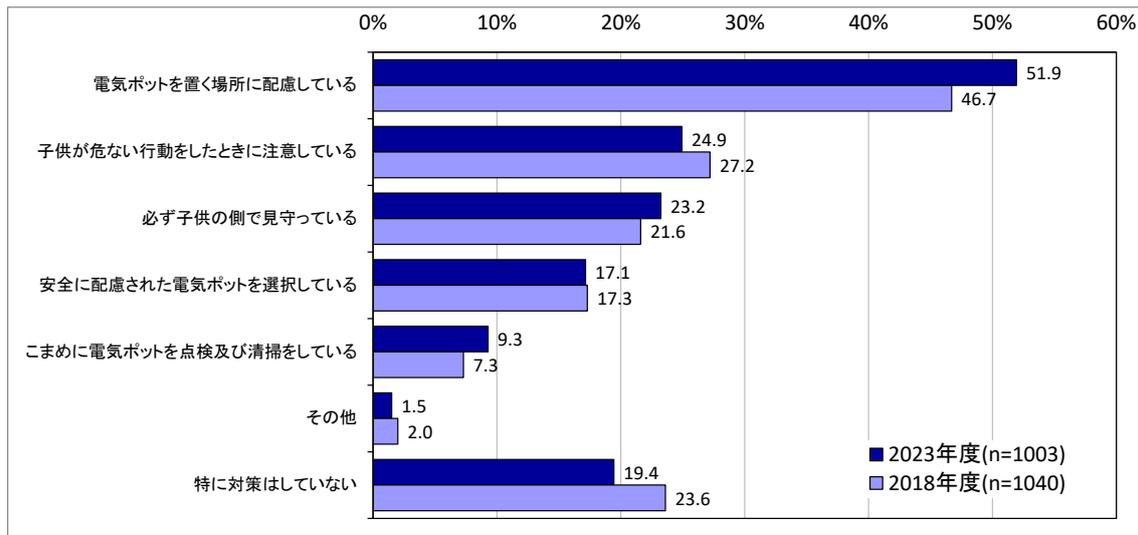


図 43 電気ポットによる事故を防ぐための対策(複数回答)Q25

(3) 電気ポットの安全上の注意表示および注意事項を確認しているか

電気ポットの安全上の注意表示および注意事項を確認しているか聞いたところ、「注意表示や注意事項はなかった、見ていない」が26.3%（264件）で最も多く、「本体及び取扱説明書の両方を確認している」24.1%（242件）、「本体のみ確認している」19.1%（192件）であった。

2018年度と比較して大きな差はなかった。

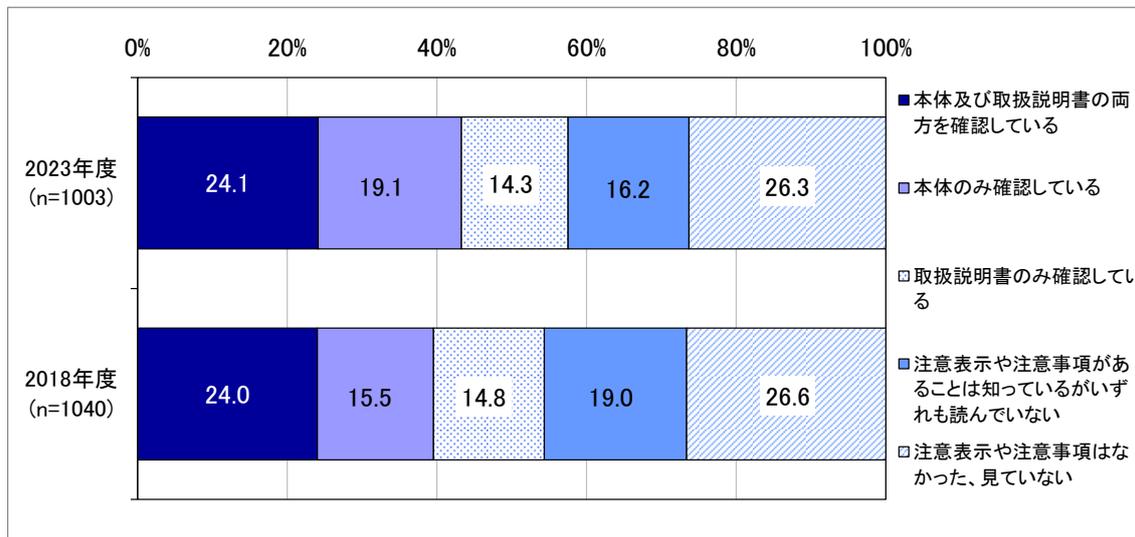


図 44 電気ポットの安全上の注意表示および注意事項を確認しているか(単数回答) Q26

(4) 子供の事故防止に関する情報入手の状況

子供の事故防止に関する情報をどこから入手、または、見聞きしているかについては、「テレビ・ラジオのニュース」が 53.3% (535 件) で最も多く、「インターネットのニュース」44.4% (445 件)、「家族・友人・知人」20.0% (201 件) となっている。

2018 年度と比較して、「インターネットのニュース」「X (旧: Twitter)、Facebook など SNS」「インターネットのロコミサイト」などインターネット媒体が増加した。

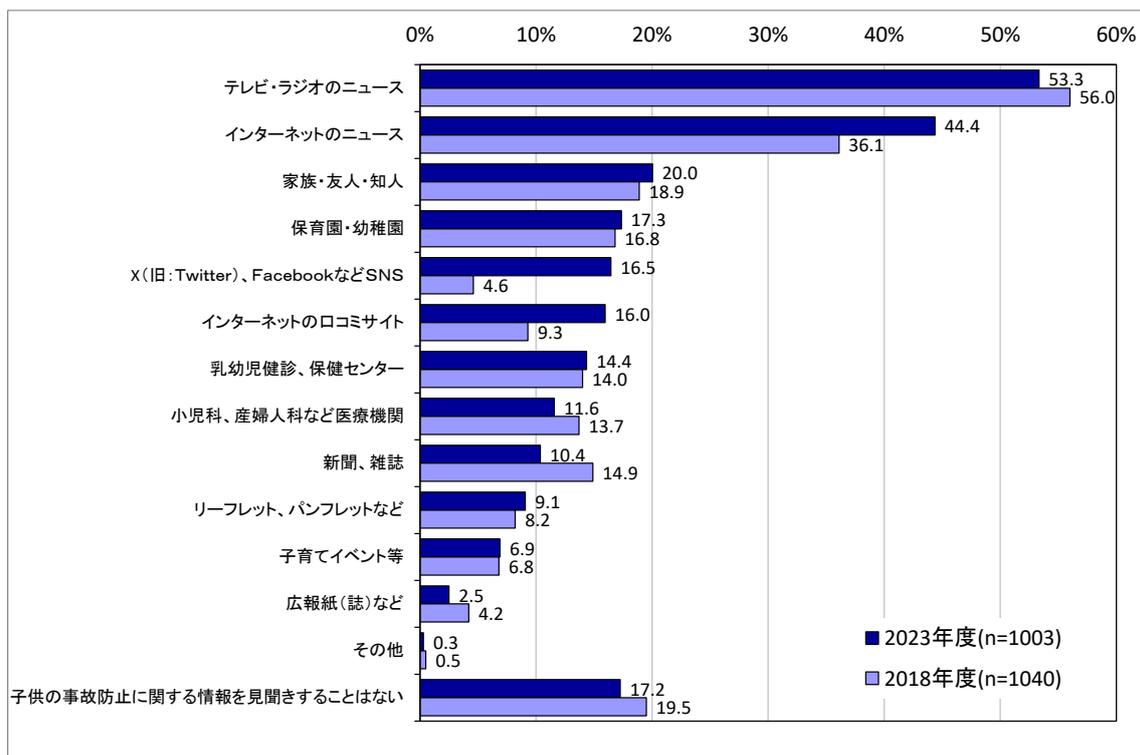


図 45 子供の事故防止に関する情報入手の状況(複数回答)Q27

4 電気ポットに対する意見・要望等 Q28

子供の電気ポットの安全性について、感じることや考えていること（不安や疑問）、事業者（メーカーや販売店等）や行政への要望についての自由記述欄には、201件の記載があった。記述内容の傾向は以下のとおりである。

(1) 不安に感じていることなど (25件)

- ボタンを押したがるので、簡単な操作だと不安。
- 幼少期は、お湯は湯気もでて面白いと感じるようで、熱いのがわからないので手で掴もうとする仕草をみて恐怖を感じた。
- 低いところに置くと倒されそうだし、高いところに置いて落ちたら怖い。

(2) 事業者への要望（構造に関する要望）

① チャイルドロックに関する要望(35件)

- ライターみたいに強い力じゃないとお湯が出ない等、子供では使えないようになると思います。
- ロック解除が1つのボタンでできてしまうため、子供でも偶然解除できてしまいそうです。また、猫が上に乗りロック解除と給湯をしてしまう事が度々あります。ロック解除は簡単なものと、簡単ではないものの2段階あると嬉しいと感じます。
- チャイルドロックの義務化。

② 転倒に関する要望(21件)

- 転倒しても、蓋が開かず、中の熱湯が溢れないような設計等をしてもらいたいです。
- 転倒してヤケドする可能性があり、倒れない専用の什器があれば使用したいです。

③ 給湯・出湯に関する要望(6件)

- お湯はねしにくい水流にしてほしい。
- 残りのお湯が少ないときの給湯はズボボボと熱湯が飛び散って危ないので、そうならないようにしてほしい。

④ 蒸気に関する要望(4件)

- 水蒸気にやはり興味を持つのでなるべく出ないものが良いかなと思います。
- 湯気などでヤケドをしないような作りしてほしい。

⑤ 電源コードに関する要望(4件)

- コードが短いといいです。
- コードレスで本体周りにクッション性があると落としても危なくないかもしれないです。

⑥ その他構造に関する要望(20件)

- 簡単に使いやすくしつつも、今まで通り安全装置は充実させてほしい。
- 湯沸かし中は特に、ポット本体が熱くならないようにしてほしい。
- 子供が好む可愛いデザインよりも無骨で蛋白なデザインのほうが興味を惹かなくイタズラも減りそう。

(3) 事業者や行政への要望(注意喚起・啓発を求める意見)(9件)

- 電気ポットの蒸気が出ないタイプなど安全面を考慮した物が出回っていますが、電気ポット自体は熱を持ってしまいうし危ないものであると感じます。メーカー側の努力は十分なされていると思いますので、消費者側へ危険性を周知すること、メーカー側の努力を発信してもらえると安心できると思います。
- 子供の怪我防止のための注意喚起をまとめて発信してもらえたら良いと思います。

(4) 使用者(親)の責任と考える(11件)

- やけどの原因になることはわかりきっているので、保護者が気をつけないといけないと思います。
- どんなに安全に作ってあっても、その人の使い方次第では危ないものとなります。

(5) 特に不安は感じていない(24件)

- 今までトラブルも無く、危険なシーンにも見舞われていないため特に無し。
- 子供が産まれる時に買い替えたので、蒸気レスでコンセントがすぐ外れる物を買いました。設置場所も子供の手の届かない所に置くようにしているので今のところ危険は感じませんが、蒸気レスは熱く無いのでどこのメーカーも当たり前になると良いと思います。
- 今の機能で充分だと思います。

第4 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因行動の分析

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの状態に着目して分析した結果を以下にまとめる。

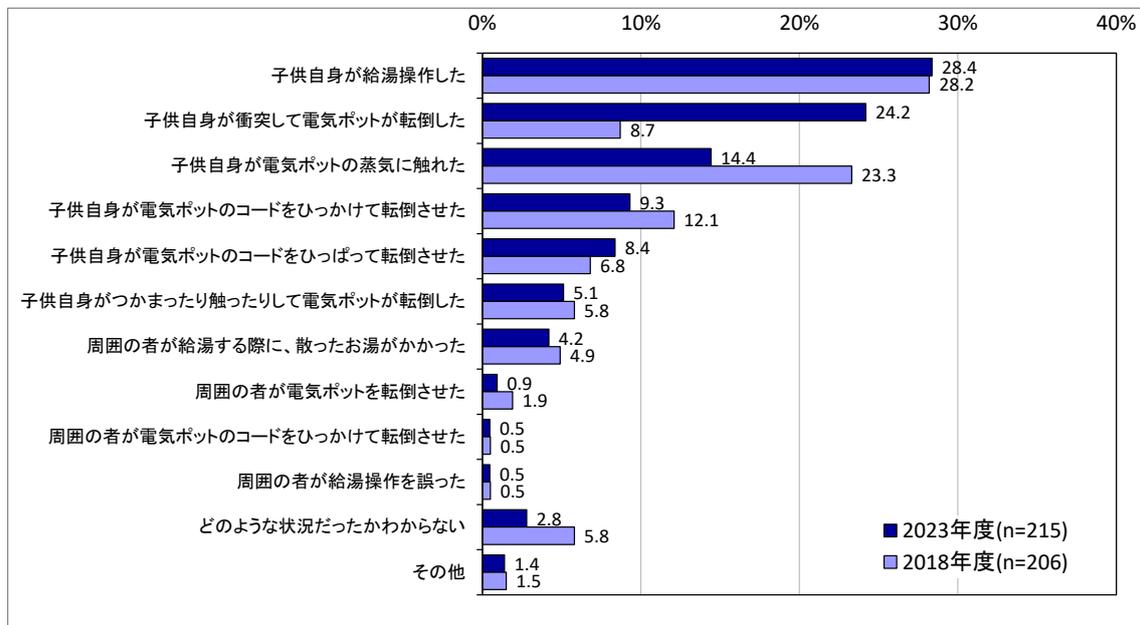


図 46 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(単数回答)Q16: 図 25 の再掲

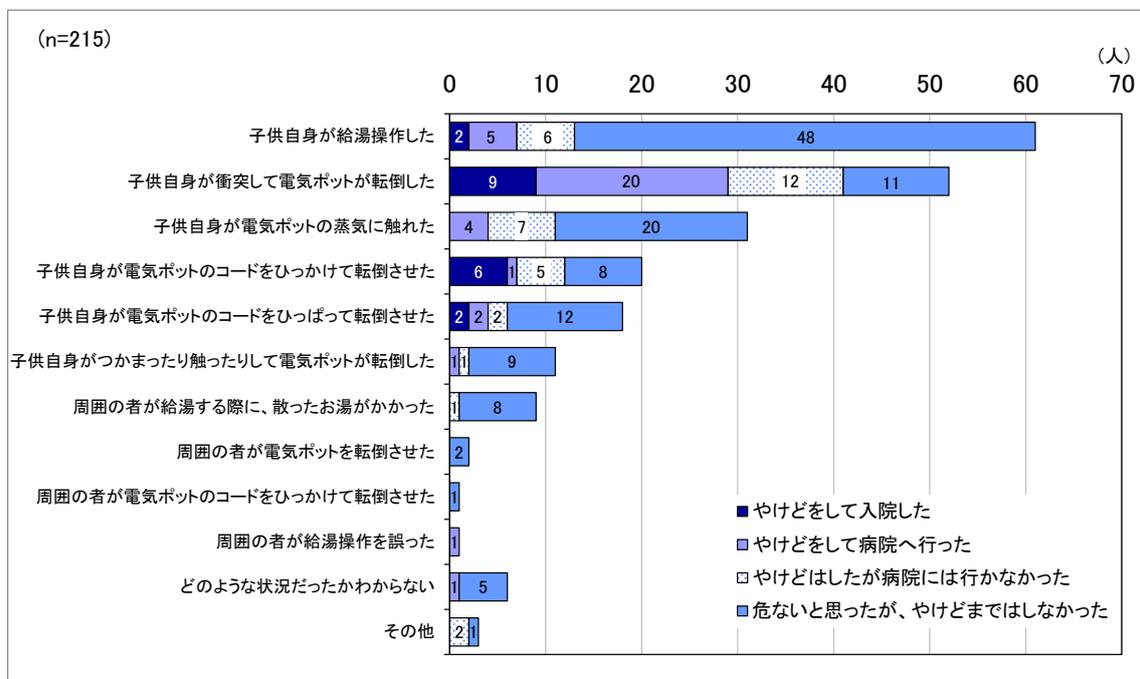


図 47 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(危害程度別)(単数回答)Q12×Q16

なお、以下、各経験の括弧内はアンケートの各回答を示す（子供の年齢、危害の程度、経験が起きた場所、経験が起きた際の電気ポットの置き場所、経験の原因となった電気ポットの給湯方式、経験の原因となった電気ポットの使用年数、経験の原因となった電気ポットの容量、電気ポットに入っていたお湯の量（順不同））。

それぞれの選択肢は以下のとおりである。

危害の程度	「入院」（やけどをして入院した） 「病院」（やけどをして病院へ行った） 「やけど」（やけどはしたが病院には行かなかった） 「ヒヤリ・ハット」（危ないと思ったが、やけどまではしなかった）
経験が起きた場所	自宅 祖父母・親戚の家 友人の家 旅館やホテル その他
経験が起きた際の電気ポットの置き場所	台所の調理スペース・流し台 台所の棚・ラック 台所の床 居室（洋室）のテーブル 居室（洋室）のローテーブル 居室（洋室）のワゴン 居室（洋室）の床 居室（和室）の座卓 居室（和室）のワゴン 居室（和室）の床 その他
経験の原因となった電気ポットの給湯方式	「電動」（電動給湯方式） 「エアー」（エアー給湯方式） 「電動・エアー兼用」（電動給湯とエアー給湯の兼用式） 「ハンディ」（ハンディ給湯方式）
経験の原因となった電気ポットの使用年数	1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上10年未満 10年以上 もらい物などのため不明
経験の原因となった電気ポットの容量	「1.0L未満」（1.0リットル未満） 「1.0～2.0L」（1.0リットル以上2.0リットル未満） 「2.0～3.0L」（2.0リットル以上3.0リットル未満） 「3.0～4.0L」（3.0リットル以上4.0リットル未満） 「4.0L以上」（4.0リットル以上）
電気ポットに入っていたお湯の量	「（ほぼ）満タン」（満タンまたはほぼ満タンの状態） 「半分」（半分くらい残っていた） 「ほぼ空」（空、又はほとんど入っていなかった） 「覚えていない・わからない」

1 給湯操作をした（しそうになった）経験：「給湯操作」

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「子供自身が給湯操作した（しそうになった）」は最も多く 61 件（28.4%）となっている（図 46、図 47）。61 件のうち「ヒヤリ・ハット」は 48 件（78.7%）であり、実際のやけどに至った「危害」（「やけどをして入院した」+「やけどをして病院へ行った」+「やけどはしたが病院には行かなかった」）は 13 件（21.3%）であった（図 47、図 48）。

61 件のうち自宅での経験は 56 件であり、これらの場所の詳細（図 49）について、全回答者全体の普段お湯を使用する場所（図 14）と比較すると、「居室（洋室）のローテーブル」（1.5%→8.9%）が多く、「台所の調理スペース・流し台」（36.0%→19.6%）は少ない。

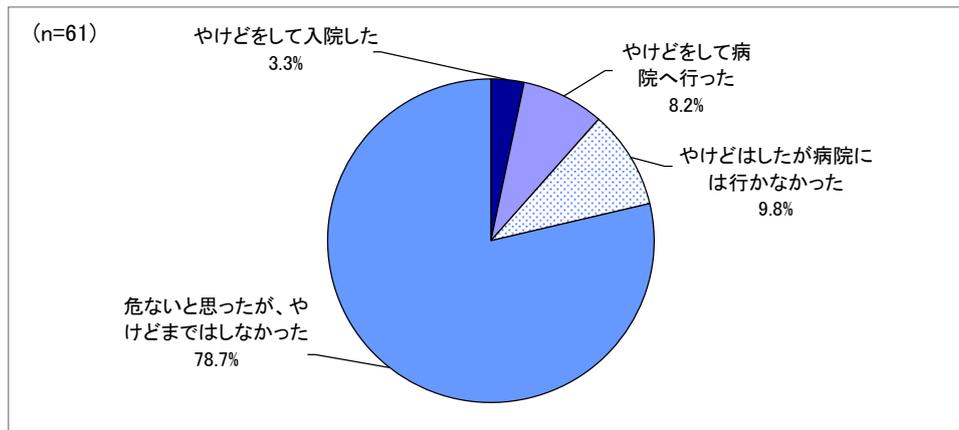


図 48 「給湯操作」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

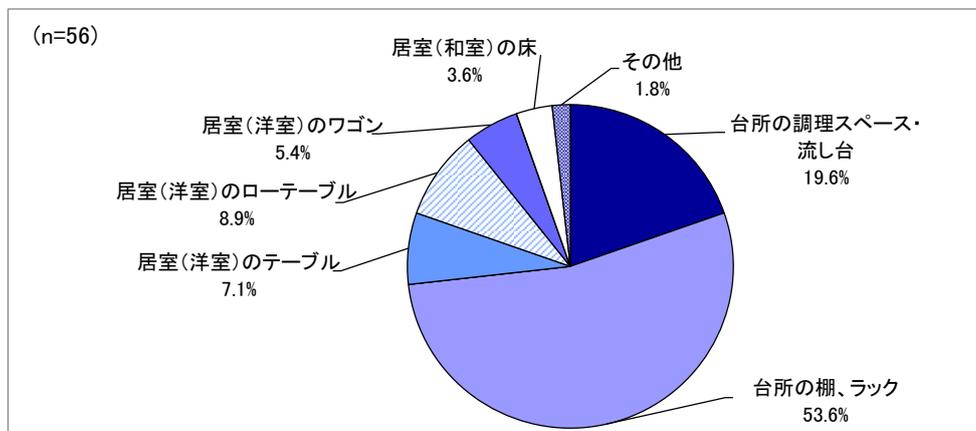


図 49 「給湯操作」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

やけどをして病院へ行った経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「給湯操作」による危害経験の概要(抜粋)】

- 朝起きてきた子供がポットに手をつきボタンを押してしまい足にお湯がかかってしまった（2歳、病院、祖父母・親戚の家、台所の床、電動）
- 子供が電気ポットから自分のコップにお湯を入れようとしていて、お湯が子供の手にこぼれて、子供の手に軽度のやけどを負った（3歳、病院、自宅、和室の床、電動）

2 衝突して転倒した（しそうになった）経験：「衝突して転倒」

衝突による「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は「給湯操作」に次いで多く 52 件（24.2%）となっている（図 46、図 47）。この中で実際にやけどに至っているのは 41 件（78.8%）であり、「ヒヤリ・ハット」を除く「危害」では最も多い（図 47、図 50）。

52 件のうち自宅での経験は 40 件であり、これらの場所の詳細（図 51）について、全回答者全体の普段お湯を使用する場所（図 14）と比較すると、「台所の床」（1.5%→25.0%）が多く、「台所の棚・ラック」（48.7%→17.5%）が少ない。

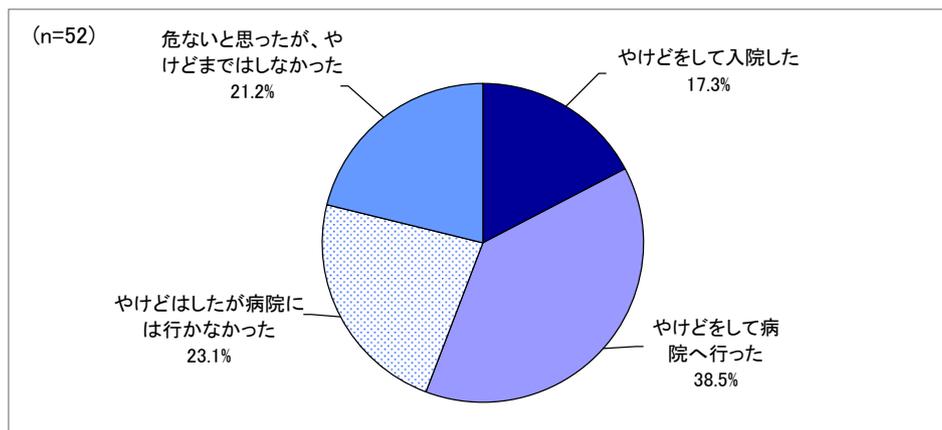


図 50 「衝突して転倒」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

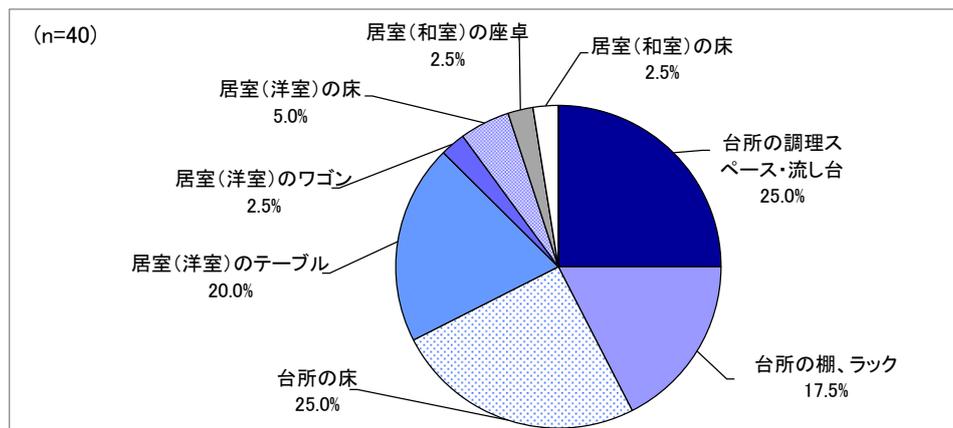


図 51 「衝突して転倒」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

危害のあった経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「衝突して転倒」による危害経験の概要(抜粋)】

- 自宅のリビングでぶつかった（1歳2か月、やけど、自宅、洋室のテーブル、電動・エアー兼用、1.0～2.0L、半分）
- 子どもが机に寄りかかって机の上のポットが倒れてお湯が出た（1歳10か月、病院、自宅、洋室のテーブル、電動・エアー兼用、1.0～2.0L、半分）
- つまずいてこぼした（3歳、やけど、自宅、台所の床、電動、2.0～3.0L、(ほぼ)満タン）

3 蒸気に触れた（しそうになった）経験：「蒸気に触れる」

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「蒸気に触れる」は31件（14.4%）となっている（図46、図47）。この中で実際にやけどに至っているのは11件（35.5%）であった（図47、図52）。

31件のうち、自宅での経験は30件であり、これらの場所の詳細（図53）について、全回答者全体の普段お湯を沸かす場所（図13）と比較すると、「台所の床」（1.9%→6.7%）、「居室（洋室）の床」（0.5%→3.3%）が多い。

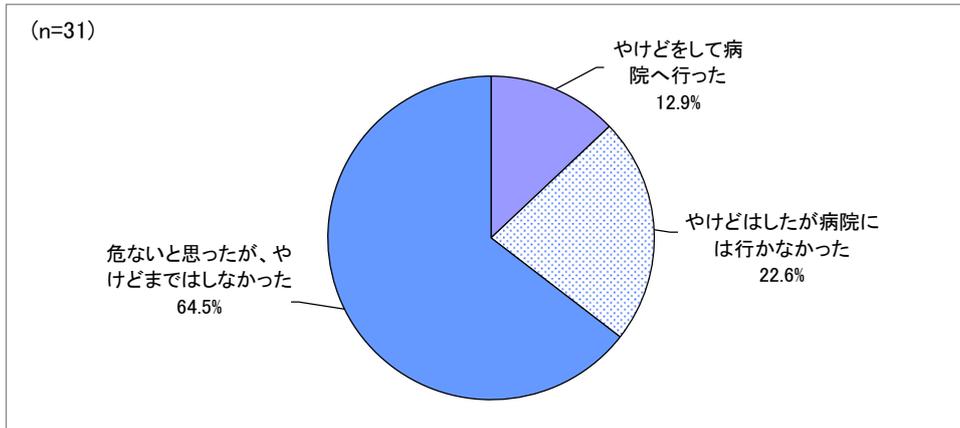


図 52 「蒸気に触れる」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

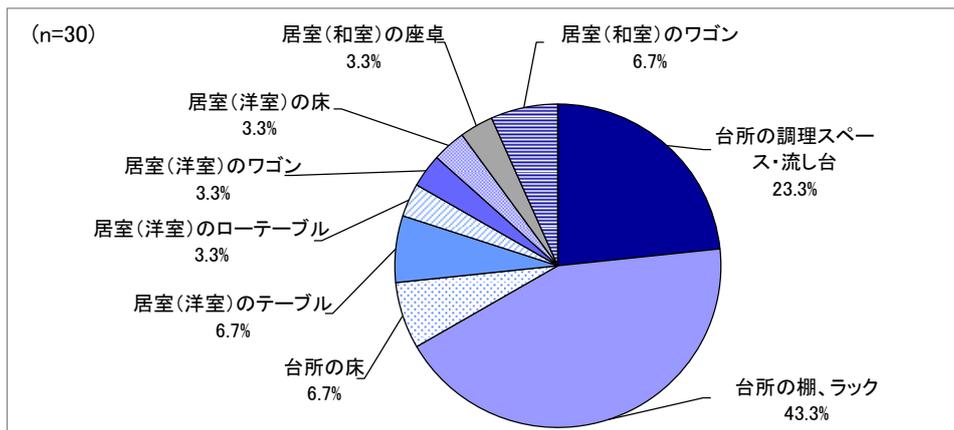


図 53 「蒸気に触れる」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

危害のあった経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「蒸気に触れる」による危害経験の概要(抜粋)】

- 子供がハイハイしだして、蒸気を面白がり、手をヤケドしてしまい、それ以降高い所に置き手が届かないようにした（1歳0か月、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動）
- 椅子に立って、湯気に触ってしまった（1歳2か月、病院、自宅、台所の床、電動）
- 親が目を離している間に、出てきた蒸気が気になったようで触ってやけどをした（3歳、病院、自宅、洋室の床、電動）

4 コードをひっかけてまたはひっばって転倒させた経験：「ひっかけ」・「ひっぱり」

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「コードをひっかけて転倒」は20件（9.3%）、「コードをひっばって転倒」は18件（8.4%）となっている（図46、図47）。

「コードをひっかけて転倒」のうち「入院」が30.0%と他の原因行動と比べ比率が高く、大量の流水につながる可能性が高いことから、重度の危害に及ぶと考えられる。なお、コードにひっかけた経験20件のうち、ひっかけた体の部位が具体的に記載されていたものは4件あり、「足」が2件、「指」が2件であった。

「コードをひっばって転倒」は1歳が61.1%を占めている（図27）。興味のあるところまで自分で歩けるようになった頃に「危害」「ヒヤリ・ハット」が発生しやすいことがうかがえる。

「コードをひっかけて転倒」「コードをひっばって転倒」について、自宅で経験が起こった場所を確認すると、「コードをひっかけて転倒」は場所を問わず発生し、「コードをひっばって転倒」は約78.6%が台所で発生している（図55）。

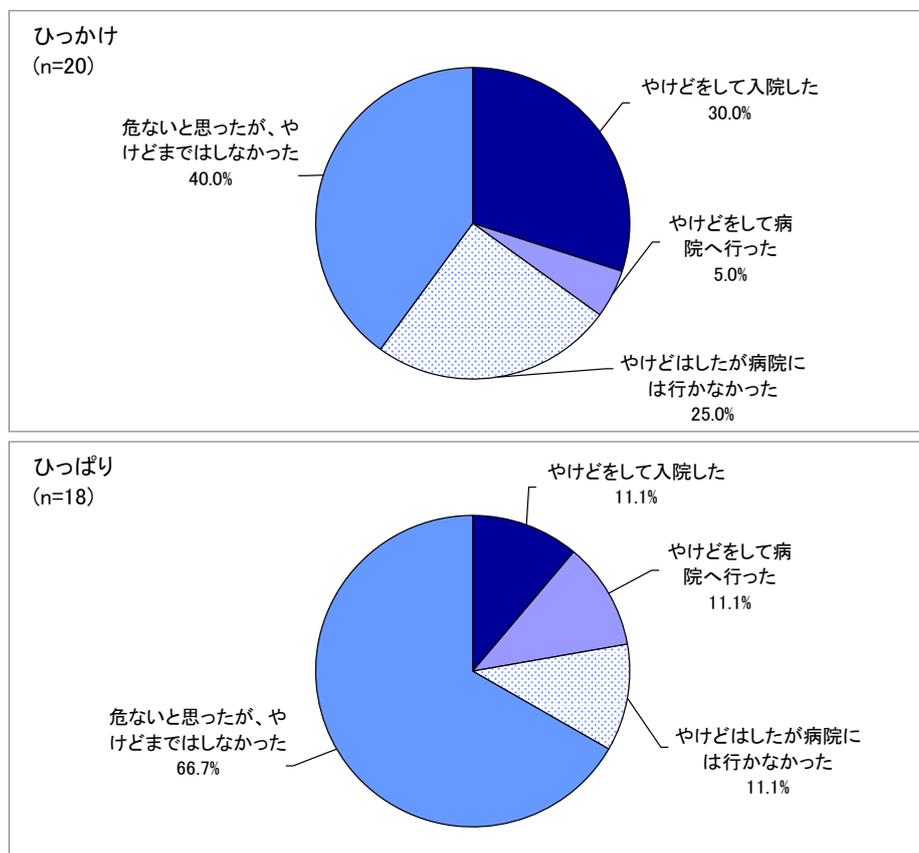


図54 「ひっかけ」「ひっぱり」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

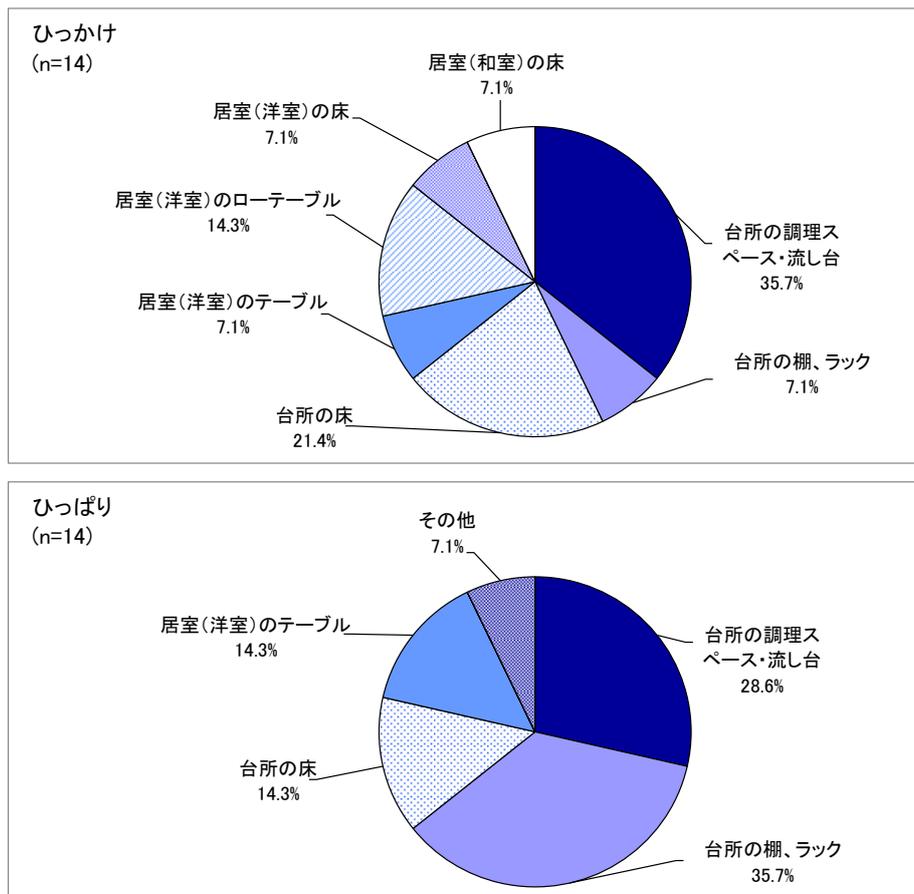


図 55 「ひっかけ」「ひっぱり」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

危害のあった経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「ひっかけ」「ひっぱり」による危害経験の概要(抜粋)】

- コードに引っかけてポットが落ちてきた (0歳11か月、入院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動、1.0~2.0L、(ほぼ)満タン)
- 子供がコードを引っ張って倒した。蓋は閉まっていた。コードが届く位置にあったから発生した (1歳0か月、入院、自宅、台所の棚・ラック、電動・エアー兼用、4.0L以上、(ほぼ)満タン)
- 指で引っかけたら倒れた (2歳、入院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動、1.0~2.0L、(ほぼ)満タン)
- 夜、調理するためにシンクの端において沸かしていたら、コードを引っ張り頭から浴びてしまった (2歳、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、ハンディ、1.0~2.0L、(ほぼ)満タン)

5 つかまったり触ったりして転倒した(しそうになった)経験:「つかまったりして転倒」
「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「つかまったり触ったりして転倒」は 11 件 (5.1%)
となっている(図 46、図 47)。「危害」の経験は 2 件 (18.2%) と比較的少ない(図 47、図 56)。

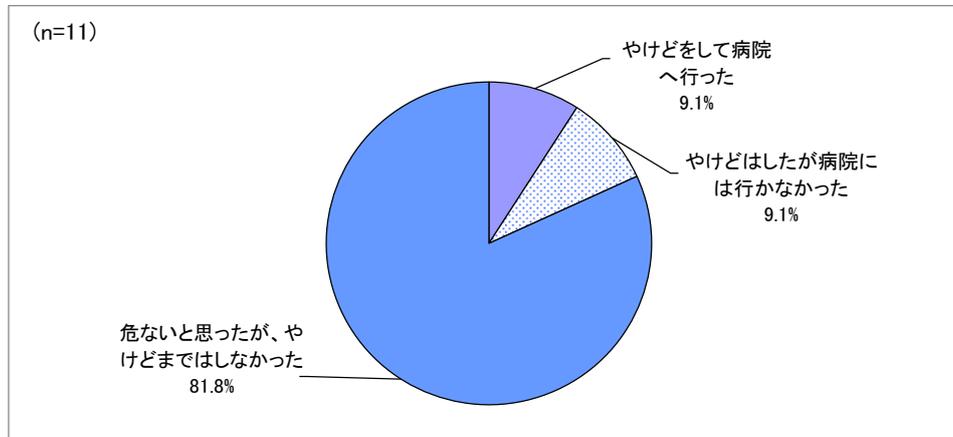


図 56 「つかまったりして転倒」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

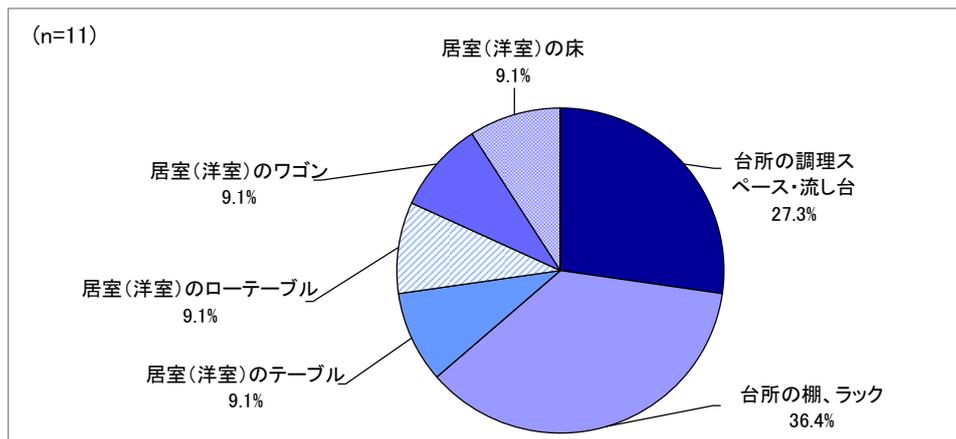


図 57 「つかまったりして転倒」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

「ヒヤリ・ハット」経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「つかまったりして転倒」によるヒヤリ・ハット経験の概要(抜粋)】

- 夜、居間で子供がつかまり立ちしたところにポットがあり、それを掴んで倒しそうになっていた(0歳10か月、ヒヤリ・ハット、自宅、洋室のローテーブル、電動、1.0~2.0L、半分)
- 子供はつかまり立ちを覚えてなんでもつかまり立つ時期だった。リビング内を自由にハイハイさせていたら、電気ポットをはじめとする家電が置いてあるラックに向かい、倒しそうになっていた(0歳10か月、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、電動、4.0L以上、(ほぼ)満タン)

6 台所での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について

全体を通し、「台所の調理スペース・流し台」、「台所の棚・ラック」での経験も多く見受けられる。台所での経験で詳細の記述があったものを以下に記す。

【「台所」での危害経験の概要(抜粋)】

- 料理をしている時に子供が触ってやけどをした（0歳3か月、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動）
- キッチンの棚に置いているが、ちょうど子供も触れることができる位置にあつたままボタンを押してお湯が出てやけどした（1歳6か月、病院、自宅、台所の棚・ラック、電動）
- 調理するためにシンクの端において沸かしていたら、コードを引っ張り頭から浴びてしまった（2歳、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、ハンディ）
- 父親がコーヒーを飲むため、ポットから給湯した後、子供がポットの給湯口を触り、指先に軽度の火傷を負った（3歳、やけど、自宅、台所の棚・ラック、電動）

【子供が好奇心から、行動を起こした事例(抜粋)】

- 子供がハイハイしだして、蒸気を面白がり、手をヤケドしてしまった（1歳0か月、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動）
- 子供がポットで遊んでいたらやけどした（1歳3か月、入院、自宅、台所の棚・ラック、電動・エアー兼用）
- 自分でお湯を注ぐと言い、すぐに傾けてしまった。父が近くにいたので、声をかけて大きな怪我はせずに済んだが、危ない場面だった（5歳、やけど、自宅、台所の棚・ラック、ハンディ）

第5 商品に関わる原因・要因の分析

やけど事故防止のための、電気ポットの安全対策機能に関わる経験を整理した。これは詳しい記述のあった回答に限定されているので、件数の多寡についての分析は難しいことに留意が必要である。

1 マグネットプラグ

コードをひっかけてまたはひっぱって転倒させた（しそうになった）ものは、周囲の者による転倒も含め合計で 39 件あり、そのうち実際に転倒に及んだものが、少なくとも 11 件あった。

【コードをひっかけてまたはひっぱって実際に転倒させた事例(抜粋)】

- コードに引っかけてポットが落ちてきた（0 歳 11 か月、入院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動）
- コードを引っ張って落とした（2 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、電動）
- 夜、調理するためにシンクの端において沸かしていたら、コードを引っ張り頭から浴びてしまった（2 歳、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、ハンディ）

2 転倒流水

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の 215 件のうち、実際に転倒したとわかるものは少なくとも 17 件あった。

【転倒し流水した事例(抜粋)】

- 夕飯の最中、子供が動き回ってぶつかった。倒れた拍子にお湯もこぼれた（1 歳 1 か月、ヒヤリ・ハット、自宅、洋室のテーブル、電動、1.0L 未満、(ほぼ) 満タン）
- 子どもが机に寄りかかって机の上のポットが倒れてお湯が出た（1 歳 10 か月、病院、自宅、洋室のテーブル、電動・エアー兼用、1.0～2.0L、半分）
- 思わぬところまで手が届いてしまい、ポットを倒した。少量のお湯を浴びた（3 歳、病院、祖父母・親戚の家、洋室のローテーブル、エアー、1.0～2.0L、ほぼ空）

【転倒したが流水しなかった事例(抜粋)】

- 倒れたが、お湯はこぼれなかった（1 歳 6 か月、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、ハンディ、1.0L 未満、(ほぼ) 満タン）
- ひっくり返したが、お湯が出なかったので大事には至らなかった（2 歳、ヒヤリ・ハット、祖父母・親戚の家、台所の棚・ラック、エアー、2.0～3.0L、半分）

3 ロック解除ボタン

ロックに関する記述があるものは、215 件のうち 29 件であった。

【ロックが機能した事例(抜粋)】

- ロックはかかっていたので、やけどせずに済んだ (1 歳 3 か月、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の調理スペース・流し台、ハンディ)
- 台所にある棚の上に置いてあったポットに手を伸ばしお湯を出そうとしたがロック機能があった為、やけどはすることはなかった (1 歳 6 か月、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、電動)
- 私が使った後に給湯ボタンを押したが、運良くロックボタンがかかりお湯が出なかった (2 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、電動)
- 親の真似しておまごとの感覚で操作したようで、ロックされていたのでお湯は出なかったがヒヤリとした。冬場で便利なので手の届く場所に置いてしまった (3 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、洋室のローテーブル、電動・エア兼用)
- 給湯のボタンを押したが、ロック解除がされていなかったために防げた (5 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、電動)

【ロックが解除されている時の事例(抜粋)】

- 自宅でロックが掛かってないときにボタンを押したらお湯が出てしまった (3 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動)

【ロックを解除した事例(抜粋)】

- ロック解除をすぐに覚えた (2 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、台所の棚・ラック、電動)
- ポットのロックはかかっていたが、ロックの外し方を分かるようになってしまい、ダメと怒っても目を離した隙にお湯を出してしまった (3 歳、ヒヤリ・ハット、自宅、和室の床、電動)

第6 参考資料 アンケート調査票

1 プレアンケート

SC1 あなたの性別をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	男性	3941	44.5
2	女性	4893	55.3
3	その他	19	0.2
	全体	8853	100.0

SC2 あなたの年齢をお知らせください。

	歳
--	---

SC3 あなたのお住まい(都県)をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	東京都	2778	31.4
2	埼玉県	1596	18.0
3	神奈川県	1895	21.4
4	千葉県	1329	15.0
5	茨城県	551	6.2
6	栃木県	360	4.1
7	群馬県	344	3.9
8	その他の道府県	0	0.0
	全体	8853	100.0

SC4 あなたの通勤・通学先(都県)をお知らせください。(SA)

※通勤も通学もしていない方は、ご自宅の都道府県をお選びください。

		回答数	%
1	東京都	3831	43.3
2	埼玉県	1184	13.4
3	神奈川県	1509	17.0
4	千葉県	1047	11.8
5	茨城県	531	6.0
6	栃木県	351	4.0
7	群馬県	331	3.7
8	その他の道府県	69	0.8
	全体	8853	100.0

SC5 同居されている自分のお子様はいますか。(SA)

		回答数	%
1	はい	8853	100.0
2	いいえ	0	0.0
	全体	8853	100.0

SC5T1 同居子ども人数

人

SC6 同居されているあなたのお子様の性別及び現在の年齢について、あてはまるものをすべてお知らせください。(MA)

		回答数	%
1	1歳未満 男児	834	9.4
2	1歳未満 女児	793	9.0
3	1歳 男児	782	8.8
4	1歳 女児	729	8.2
5	2歳 男児	706	8.0
6	2歳 女児	788	8.9
7	3歳 男児	848	9.6
8	3歳 女児	758	8.6
9	4歳 男児	848	9.6
10	4歳 女児	843	9.5
11	5歳 男児	946	10.7
12	5歳 女児	928	10.5
13	6歳 男児	948	10.7
14	6歳 女児	819	9.3
15	7歳以上 男児	1444	16.3
16	7歳以上 女児	1368	15.5
	全体	8853	100.0

SC7 あなたが普段お湯を沸かす際、もっともよく使う製品についてお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	電気ポット(ジャーポット)電動給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	999	11.3
2	電気ポット(ジャーポット)エア給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	51	0.6
3	電気ポット(ジャーポット)電動給湯とエア給湯の兼用式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	125	1.4
4	電気ポットハンディ給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	135	1.5
5	電気ケトル 本体と給電台に分離できる。給電台と電源コードが分離できない ものが多い	4924	55.6
6	ウォーターサーバー	816	9.2
7	ヤカン(ガスコンロやIHクッキングヒーター)	1324	15.0
8	その他	121	1.4
9	お湯を沸かすことがない	358	4.0
	全体	8853	100.0



2 本調査

SC1 あなたの性別をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	男性	511	50.9
2	女性	492	49.1
3	その他	0	0.0
	全体	1003	100.0

SC2 あなたの年齢をお知らせください。

歳

SC3 あなたのお住まい(都県)をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	東京都	296	29.5
2	埼玉県	206	20.5
3	神奈川県	211	21.0
4	千葉県	140	14.0
5	茨城県	72	7.2
6	栃木県	41	4.1
7	群馬県	37	3.7
8	その他の道府県	0	0.0
	全体	1003	100.0

SC4 あなたの通勤・通学先(都県)をお知らせください。(SA)

※通勤も通学もしていない方は、ご自宅の都道府県をお選びください。

		回答数	%
1	東京都	419	41.8
2	埼玉県	146	14.6
3	神奈川県	172	17.1
4	千葉県	114	11.4
5	茨城県	70	7.0
6	栃木県	42	4.2
7	群馬県	34	3.4
8	その他の道府県	6	0.6
	全体	1003	100.0

SC5 同居されている自分のお子様はいますか。(SA)

		回答数	%
1	はい	1003	100.0
2	いいえ	0	0.0
	全体	1003	100.0

SC5T1 同居子ども人数

人

SC6 同居されているあなたのお子様の性別及び現在の年齢について、あてはまるものをすべてお知らせください。(MA)

		回答数	%
1	1歳未満 男児	88	8.8
2	1歳未満 女児	92	9.2
3	1歳 男児	84	8.4
4	1歳 女児	90	9.0
5	2歳 男児	80	8.0
6	2歳 女児	75	7.5
7	3歳 男児	92	9.2
8	3歳 女児	91	9.1
9	4歳 男児	107	10.7
10	4歳 女児	92	9.2
11	5歳 男児	114	11.4
12	5歳 女児	99	9.9
13	6歳 男児	105	10.5
14	6歳 女児	78	7.8
15	7歳以上 男児	148	14.8
16	7歳以上 女児	165	16.5
	全体	1003	100.0

SC7 あなたが普段お湯を沸かす際、もっともよく使う製品についてお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	電気ポット(ジャーポット)電動給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	762	76.0
2	電気ポット(ジャーポット)エア給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	34	3.4
3	電気ポット(ジャーポット)電動給湯とエア給湯の兼用式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	106	10.6
4	電気ポットハンディ給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式	101	10.1
5	電気ケトル 本体と給電台に分離できる。給電台と電源コードが分離できない ものが多い	0	0.0
6	ウォーターサーバー	0	0.0
7	ヤカン(ガスコンロやIHクッキングヒーター)	0	0.0
8	その他	0	0.0
9	お湯を沸かすことがない	0	0.0
	全体	1003	100.0

お湯を沸かすのに使われている電気ポットについてお聞きます。

複数お持ちの場合は、一番よく使う電気ポットについてお答えください。

Q1 電気ポットの給湯方式(お湯の出し方)をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	電動給湯方式	755	75.3
2	エア給湯方式	42	4.2
3	電動給湯とエア給湯の兼用式	118	11.8
4	ハンディ給湯方式	88	8.8
	全体	1003	100.0



Q2 使用している電気ポットの容量をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	1.0リットル未満	65	6.5
2	1.0リットル以上 2.0リットル未満	310	30.9
3	2.0リットル以上 3.0リットル未満	393	39.2
4	3.0リットル以上 4.0リットル未満	162	16.2
5	4.0リットル以上	73	7.3
	全体	1003	100.0

Q3 電気ポットはどこで購入しましたか。(SA)

		回答数	%
1	家電販売店	512	51.0
2	ホームセンター	82	8.2
3	百貨店・スーパー	12	1.2
4	インターネット通販	203	20.2
5	カタログ通販	11	1.1
6	リサイクルショップ	6	0.6
7	フリマサイト	5	0.5
8	親戚や友人からもらった	74	7.4
9	その他	7	0.7
10	覚えていない	91	9.1
	全体	1003	100.0

Q4 現在使用している電気ポットは新品で購入しましたか。それとも中古品で購入しましたか。(SA)

		回答数	%
1	新品	49	53.3
2	中古品	18	19.6
3	もらい物などのため不明	25	27.2
	全体	92	100.0

Q5 購入の際にその電気ポットを選択した理由をお答えください。(3 つまで) (MA)

		回答数	%
1	価格	563	56.1
2	容量	359	35.8
3	メーカー、ブランド	321	32.0
4	デザイン(イラスト、色)	152	15.2
5	お湯が沸く速さ	113	11.3
6	保温設定温度の範囲	140	14.0
7	高機能性(コードレス出湯、浄水機能、カルキ抜き機能等)	71	7.1
8	空焚き防止機能(内容器が空か少ない状態で、湯沸した場合には検知して電源を自動でオフにする機能)	25	2.5
9	転倒流水防止設計(万が一転倒したときに中のお湯がこぼれないように設計されたタイプ)	26	2.6
10	蒸気レス・蒸気セーブ(沸騰した際に、蒸気が発生しない仕組みや発生する量を抑えることができるタイプ)	59	5.9
11	省エネ性能(消費電力の低さ)	67	6.7
12	安全に関するマーク(キッズデザイン賞受賞マーク、Sマーク、JISマーク)	17	1.7
13	その他	9	0.9
14	覚えていない、自分で選んでいないからわからない	149	14.9
	全体	1003	100.0

Q6 お持ちの電気ポットに、蒸気レス・蒸気セーブ(沸騰しても蒸気が出ない、又は出る蒸気が少ない)の機能が付いているか教えてください。(SA)

		回答数	%
1	蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いている	451	45.0
2	蒸気レス・蒸気セーブ機能が付いていない	305	30.4
3	わからない	247	24.6
	全体	1003	100.0



Q6.1 蒸気レス・蒸気セーブの機能が付いた電気ポットを選択しなかった理由を教えてください。(SA)

		回答数	%
1	蒸気レス・蒸気セーブの機能自体を知らなかったから	113	37.0
2	欲しい機種に、蒸気レス・蒸気セーブの機能がなかったから	40	13.1
3	蒸気レス・蒸気セーブの機能が付いた商品の価格が高かったから	34	11.1
4	もらい物や景品等で、自分で選べなかったから	32	10.5
5	特に必要性を感じなかったから	86	28.2
6	その他	0	0.0
	全体	305	100.0

Q7 お持ちの電気ポットに、コードレス出湯(電源コードを外した状態で給湯ができる)の機能が付いているか教えてください。(SA)

		回答数	%
1	コードレス出湯機能が付いている	200	26.5
2	コードレス出湯機能が付いていない	440	58.3
3	わからない	115	15.2
	全体	755	100.0



Q7.1 コードレス出湯の機能が付いた電気ポットを選択しなかった理由を教えてください。(SA)

		回答数	%
1	コードレス出湯の機能自体を知らなかったから	182	41.4
2	欲しい機種に、コードレス出湯の機能がなかったから	28	6.4
3	コードレス出湯の機能が付いた商品の価格が高かったから	38	8.6
4	もらい物や景品等で、自分で選べなかったから	36	8.2
5	特に必要性を感じなかったから	155	35.2
6	その他	1	0.2
	全体	440	100.0

Q8 電気ポットの使用方法及び使用頻度を教えてください。(SA)

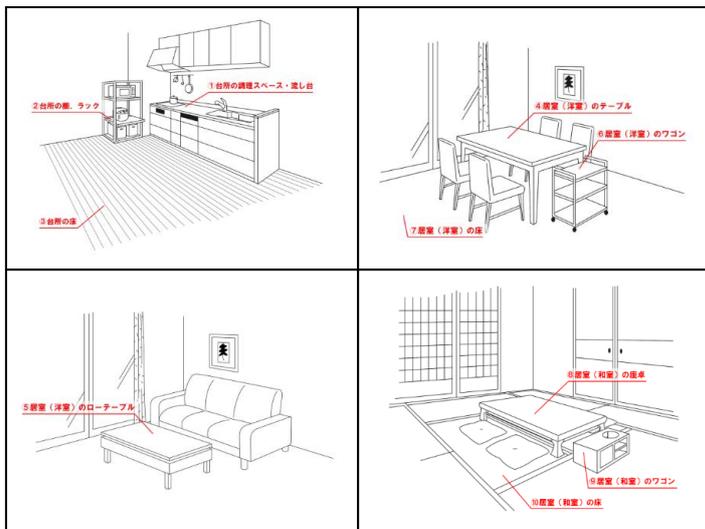
		回答数	%
1	常にお湯を入れ保温している	740	73.8
2	必要な量だけ沸かして、その都度使い切る	263	26.2
	全体	1003	100.0

Q8_1 電気ポットのお湯を使う頻度をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	毎日使用していない	153	15.3
2	1日1回	237	23.6
3	1日2回	194	19.3
4	1日3回	143	14.3
5	1日4回以上	276	27.5
	全体	1003	100.0

Q9 電気ポットの使用場所(置き場所)を教えてください。(それぞれひとつずつ)(SA)

		お湯を沸かす場所		給湯する場所 (お湯を使う場所)	
		回答数	%	回答数	%
1	台所の調理スペース・流し台	362	36.1	361	36.0
2	台所の棚、ラック	520	51.8	488	48.7
3	台所の床	19	1.9	15	1.5
4	居室(洋室)のテーブル	40	4.0	57	5.7
5	居室(洋室)のローテーブル	8	0.8	15	1.5
6	居室(洋室)のワゴン	15	1.5	17	1.7
7	居室(洋室)の床	5	0.5	8	0.8
8	居室(和室)の座卓	2	0.2	5	0.5
9	居室(和室)のワゴン	1	0.1	1	0.1
10	居室(和室)の床	5	0.5	7	0.7
11	その他	26	2.6	29	2.9
	全体	1003	100.0	1003	100.0



Q10 現在使用している電気ポットの使用年数を教えてください。(SA)

		回答数	%
1	1年未満	110	11.0
2	1年以上3年未満	313	31.2
3	3年以上5年未満	267	26.6
4	5年以上10年未満	212	21.1
5	10年以上	57	5.7
6	もらい物などのため不明	44	4.4
	全体	1003	100.0

Q11 メーカーでは、内蓋パッキンについて定期的に確認し、損傷していたら交換することを推奨しています。このことをご存知でしたか。また、ご使用中のポットについて、パッキンを交換したことがありますか。(SA)

		回答数	%
1	知っているし、交換したことがある	86	8.6
2	知っているが、まだその時期が来ていないため、交換していない	187	18.6
3	知っているが、めんどうなので交換していない	107	10.7
4	知っているが、使用中のポットで交換したかについて覚えていない	37	3.7
5	知らなかった	585	58.3
6	その他	1	0.1
	全体	1003	100.0



今までに、子供が電気ポットによりやけどをした、しそようになった経験についてお聞きます。

(複数の経験がある方は、危害又は危険が最も大きかった経験についてお答えください。)

Q12 今までに自宅に限らず、お子様が電気ポットによって、やけどをした、又はやけどをしそようになった経験はありますか。(SA)

※電気ポットからお湯を注いだ『コップ』を倒したようなケースは含みません。

		回答数	%
1	やけどをして入院した	19	1.9
2	やけどをして病院へ行った	35	3.5
3	やけどはしたが病院には行かなかった	36	3.6
4	危ないと思ったが、やけどまではしなかった	125	12.5
5	その他	0	0.0
6	特にない	788	78.6
	全体	1003	100.0

Q13 それはお子様が何歳の時ですか。

※月齢は、お子様が電気ポットによって、やけどをした、又はやけどをしそようになった年齢が「0歳」または「1歳」の場合のみご回答ください。

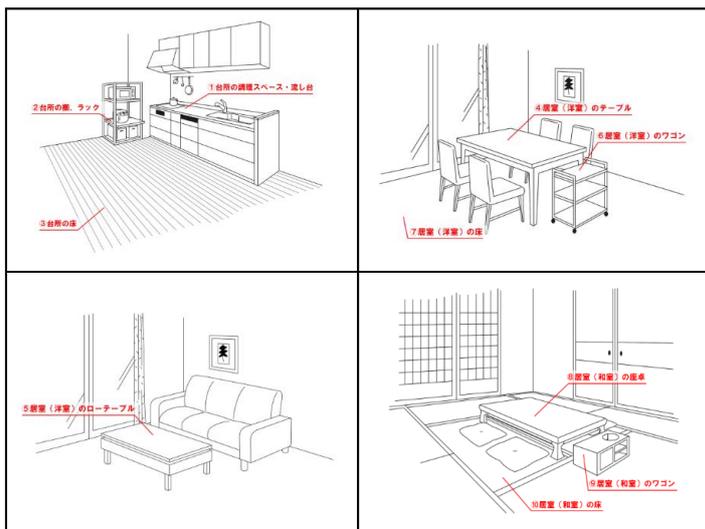
	歳
	か月

Q14 やけどをした、しそになった場所はどこでしたか。(SA)

		回答数	%
1	自宅	187	87.0
2	祖父母・親戚の家	17	7.9
3	友人の家	6	2.8
4	旅館やホテル	5	2.3
5	その他	0	0.0
	全体	215	100.0

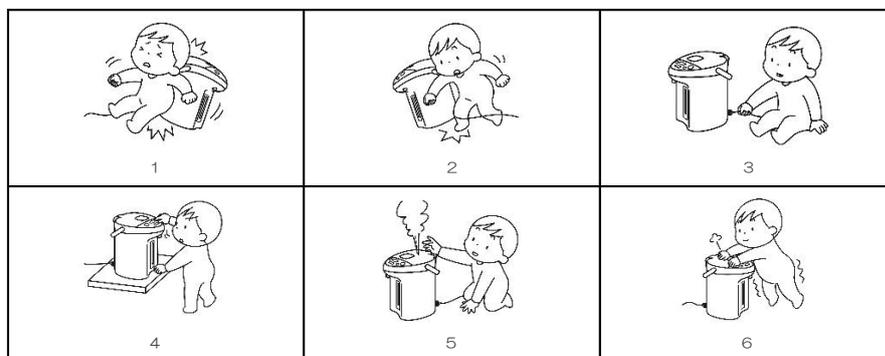
Q15 電気ポットはどこに置いてありましたか。(SA)

		回答数	%
1	台所の調理スペース・流し台	46	21.4
2	台所の棚、ラック	78	36.3
3	台所の床	21	9.8
4	居室(洋室)のテーブル	25	11.6
5	居室(洋室)のローテーブル	13	6.0
6	居室(洋室)のワゴン	9	4.2
7	居室(洋室)の床	9	4.2
8	居室(和室)の座卓	5	2.3
9	居室(和室)のワゴン	3	1.4
10	居室(和室)の床	4	1.9
11	その他	2	0.9
	全体	215	100.0



Q16 その時、お子様はどのような状態でやけどをした、又はしそうになりましたか。(SA)

		回答数	%
1	子供自身が衝突して電気ポットが転倒した(しそうになった)	52	24.2
2	子供自身が電気ポットのコードをひっかけて転倒させた(しそうになった)	20	9.3
3	子供自身が電気ポットのコードをひっぱって転倒させた(しそうになった)	18	8.4
4	子供自身が給湯操作した(しそうになった)	61	28.4
5	子供自身が電気ポットの蒸気に触れた(しそうになった)	31	14.4
6	子供自身がつかまったり触ったりして電気ポットが転倒した(しそうになった)	11	5.1
7	周囲の者が電気ポットを転倒させた(しそうになった)	2	0.9
8	周囲の者が電気ポットのコードをひっかけて転倒させた(しそうになった)	1	0.5
9	周囲の者が給湯操作を誤った(誤りそうになった)	1	0.5
10	周囲の者が給湯する際に、給湯口から飛び散ったお湯がかかった(かかりそうになった)	9	4.2
11	どのような状況だったかわからない	6	2.8
12	その他	3	1.4
	全体	215	100.0



Q17 その時、お湯がこぼれたり、出たりしましたか。(SA)

		回答数	%
1	はい	91	53.8
2	いいえ	78	46.2
	全体	169	100.0

Q18 やけどをした、しそようになった電気ポットは、今までご回答いただいていた「一番よく使う電気ポット」ですか。(SA)

		回答数	%
1	はい	164	87.7
2	いいえ	23	12.3
	全体	187	100.0

Q18_1 やけどをした、しそようになった電気ポットの給湯方式(お湯の出し方)をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	電動給湯方式	26	51.0
2	エアー給湯方式	12	23.5
3	電動給湯とエアー給湯の兼用式	8	15.7
4	ハンディ給湯方式	5	9.8
	全体	51	100.0



Q18_2 やけどをした、しそようになった電気ポットの容量をお知らせください。(SA)

		回答数	%
1	1.0リットル未満	4	7.8
2	1.0リットル以上 2.0リットル未満	19	37.3
3	2.0リットル以上 3.0リットル未満	18	35.3
4	3.0リットル以上 4.0リットル未満	8	15.7
5	4.0リットル以上	2	3.9
	全体	51	100.0

Q18_3 やけどをした、しそうなった電気ポットの使用年数を教えてください。(SA)

		回答数	%
1	1年未満	4	7.8
2	1年以上3年未満	13	25.5
3	3年以上5年未満	24	47.1
4	5年以上10年未満	7	13.7
5	10年以上	1	2.0
6	もらい物などのため不明	2	3.9
	全体	51	100.0

Q19 電気ポットにはどのくらいのお湯が入っていましたか。(SA)

		回答数	%
1	満タンまたはほぼ満タンの状態	75	34.9
2	半分くらい残っていた	109	50.7
3	空、又はほとんど入っていなかった	19	8.8
4	覚えていない・わからない	12	5.6
	全体	215	100.0

Q20 お子様がやけどをしたとき、又はしそうなったときの状況をできるだけ詳しくご記入ください。(FA)

※いつ、どこで、子供の状況(電気ポットからどれくらいのお湯がこぼれたか、電気ポットの蓋は閉まっていたか、ロックはかかっていたか、どのような状態から転倒したか、そばにいた人、被害・症状、考えられる原因、その後の対応など)

Q21 やけどをした、しそようになった原因は何であったとお考えですか。(MA)

		回答数	%
1	電気ポットがやけどの原因になるとは思わなかった	31	14.4
2	子供の手が届くと思わなかった	82	38.1
3	子供の手が届くと思っていたが、触れないような対策をしていなかった	73	34.0
4	置き場所が悪かった	71	33.0
5	簡単に倒れないと思っていた	25	11.6
6	保護者が子供から目を離してしまった	51	23.7
7	子供に言い聞かせていなかった	31	14.4
8	電気ポット自体に問題があった	1	0.5
9	製品の注意表示が判りづらい、読みにくい	0	0.0
10	その他	0	0.0
11	特に思いつかない	3	1.4
	全体	215	100.0

Q22 やけどをした、しそようになったとき、製品についてどこかに報告(相談や情報提供を含む)しましたか。(MA)

		回答数	%
1	販売店	36	16.7
2	メーカー	58	27.0
3	消費生活センター	19	8.8
4	その他	0	0.0
5	報告しなかった	121	56.3
	全体	215	100.0

子供の電気ポットによる事故についてお聞きます。

Q23 子供のいる環境において、電気ポットの取り扱いについて、危険性を感じていますか。(SA)

		回答数	%
1	とても危ないと感じている	214	21.3
2	多少は危ないと感じている	402	40.1
3	それほど危ないとは感じていない	209	20.8
4	危ないと感じていない	178	17.7
	全体	1003	100.0

Q24 どのような点に危険を感じていますか。(MA)

		回答数	%
1	子供がぶつかって転倒させそう	204	33.1
2	子供がコードに引っ掛かりそう	155	25.2
3	子供がコードをひっぱりそう	195	31.7
4	子供が蒸気に触れそう	267	43.3
5	子供がボタンを触りそう	308	50.0
6	子供がロックをはずしそう	139	22.6
7	子供が蓋を開けそう	195	31.7
8	不安定で倒れそう	79	12.8
9	その他	8	1.3
	全体	616	100.0

Q25 事故を防ぐために、どのような対策をしていますか。(MA)

		回答数	%
1	安全に配慮された電気ポットを選択している	172	17.1
2	電気ポットを置く場所に配慮している	521	51.9
3	こまめに電気ポットを点検及び清掃をしている	93	9.3
4	必ず子供の側で見守っている	233	23.2
5	子供が危ない行動をしたときに注意している	250	24.9
6	その他	15	1.5
7	特に対策はしていない	195	19.4
	全体	1003	100.0

Q26 電気ポットの安全上の注意表示及び注意事項を確認していますか。(SA)

		回答数	%
1	本体及び取扱説明書の両方を確認している	242	24.1
2	本体のみ確認している	192	19.1
3	取扱説明書のみ確認している	143	14.3
4	注意表示や注意事項があることは知っているがいずれも読んでいない	162	16.2
5	注意表示や注意事項はなかった、見ていない	264	26.3
	全体	1003	100.0

Q27 子供の事故防止に関する情報をどこから入手、または、見聞きますか。(MA)

		回答数	%
1	テレビ・ラジオのニュース	535	53.3
2	新聞、雑誌	104	10.4
3	インターネットのニュース	445	44.4
4	インターネットの口コミサイト	160	16.0
5	X(旧:Twitter)、FacebookなどSNS	165	16.5
6	乳幼児健診、保健センター	144	14.4
7	小児科、産婦人科など医療機関	116	11.6
8	保育園・幼稚園	174	17.3
9	家族・友人・知人	201	20.0
10	子育てイベント等	69	6.9
11	リーフレット、パンフレットなど	91	9.1
12	広報紙(誌)など	25	2.5
13	その他	3	0.3
14	子供の事故防止に関する情報を見聞きすることはない	173	17.2
	全体	1003	100.0

電気ポットに対する要望についてお聞きます。

Q28 子供の電気ポットの安全性について、感じることや考えていること(不安や疑問)、事業者(メーカーや販売店等)や行政への要望がありましたら、自由にご記入ください。(FA)